

# 平成 30 年度 病院事業決算状況

都道府県名 広島県

総務省

## - 目次 -

市町村・組合名	病院名	ページ			
-	県立広島病院	2	世羅中央病院企業団	公立世羅中央病院	20
-	県立安芸津病院	3			
広島市	広島市民病院	4			
広島市	安佐市民病院	5			
広島市	舟入市民病院	6			
広島市	安芸市民病院	7			
広島市	リハビリテーション病院	8			
呉市	公立下蒲刈病院	9			
尾道市	尾道市立市民病院	10			
尾道市	尾道市公立みつぎ総合病院	11			
福山市	福山市民病院	12			
府中市	府中市立湯が丘病院	13			
府中市	想定企業会計	14			
三次市	市立三次中央病院	15			
庄原市	庄原市立西城市民病院	16			
安芸太田町	安芸太田病院	17			
北広島町	北広島町豊平病院	18			
神石高原町	神石高原町立病院	19			

<b>病院事業決算状況</b> <b>( 30 年度)</b>				都道府県名	広島県
				市町村・組合名	
				病院名	県立広島病院
施設及び業務概況等					
法適用区分	条例全部	特殊診療機能	透I未訓ガ		
病院区分	一般病院	不採算地区病院	非該当		
建物面積	68,179 m <sup>2</sup>	指定病院の状況	救臨がへ災地輪		
診療科数	35	看護配置	7:1		
許可公営企業		経営形態	直営		
DPC対象病院	対象	類似区分	500床以上		

特殊診療機能欄 ド...人間ドック 透...人工透析 I...ICU・CCU 未...NICU・未熟児室 訓...運動機能訓練室 ガ...ガン（放射線）診療  
指定病院の状況欄 救...救急告示病院 臨...臨床研修病院 が...がん診療連携拠点病院 感...感染症指定医療機関 へ...へき地区医療拠点病院 災...災害拠点病院  
地...地域医療支援病院 特...特定機能病院 輪...病院群輪番制病院

病床利用率・平均在院日数（%・日）				
区分	病床数	30年度	29年度	28年度
一般	650	80.5	87.4	88.3
療養	-	-	-	-
結核	-	-	-	-
精神	50	47.0	55.1	54.7
感染症	-	-	-	-
計	700	78.1	85.1	85.9
平均在院日数（一般病床のみ）		10.7	11.5	12.3

設立団体の状況		
人口（人）	2,843,990	
決算規模（千円）	900,876,841	
標準財政規模（千円）	565,878,591	
財政力指数	0.61429	
経常収支比率（%）	93.9	
健全化判断比率	実質赤字比率（%）	-
	連結実質赤字比率（%）	-
	実質公債費比率（%）	13.6
	将来負担比率（%）	220.3

修正医業収支の状況	
修正医業収支比率（%）	96.5
修正医業収支金額（千円）	21,612,669

損益計算書（千円・%）				
区分	決算額	費用 医業収益	全国平均	類似平均
総収益	23,931,512			
1 経常収益	23,928,559			
(1) 医業収益	21,883,349			
入院収益	15,317,889			
外来収益	6,009,031			
診療収入計	21,326,920			
その他医業収益	556,429			
(うち他会計負担金)	270,680			
(2) 医業外収益	2,045,210			
(うち国・都道府県補助金)	29,105			
(うち他会計補助・負担金)	1,191,979			
(うち長期前受金戻入)	473,877			
(うち資本費繰入収益)	-			
(3) 特別利益	2,953			
(うち他会計繰入金)	-			
総費用	24,534,920			
2 経常費用	23,627,836			
(1) 医業費用	22,397,335			
職員給与費	11,864,302	54.2	56.0	49.8
材料費	6,479,513	29.6	24.1	28.0
(うち薬品費)	2,952,250	13.5	12.6	14.8
(うち薬品費以外の医薬材料費)	3,522,696	16.1	11.1	12.8
減価償却費	1,300,904	5.9	9.2	8.3
経費	2,628,478	12.0	23.2	20.7
(うち委託料)	1,686,444	7.7	11.3	11.4
研究研修費	108,552			
資産減耗費	15,586			
(2) 医業外費用	1,230,501			
(うち支払利息)	365,692	1.7	1.6	1.4
(3) 特別損失	907,084			
損益				
経常損益	300,723			
純損益	-603,408			
累積欠損金	23,352,021			
経常収支比率	101.3		98.2	99.5
医業収支比率	97.7		88.3	92.8
他会計繰入金対経常収益比率	6.1		12.5	9.1
他会計繰入金対医業収益比率	6.7		14.6	10.3
他会計繰入金対総収益比率	6.1		12.5	9.0
実質収益対経常費用比率	95.1		86.0	90.4

備考：  
「類似平均」については類似区分（一般病院の500床以上、同400床以上500床未満、同300床以上400床未満、同200床以上300床未満、同100床以上200床未満、同50床以上100床未満、同50床未満、結核病院、精神科病院、建設中）に基づき算出している。

貸借対照表（千円・%）	
区分	決算額
資産合計	23,979,507
1 固定資産	17,696,997
(1) 有形固定資産	17,292,835
(2) 無形固定資産	13,928
(3) 投資その他の資産	390,234
2 流動資産	6,282,510
(1) 現金及び預金	1,757,781
(2) 未収金及び未収収益	4,244,806
(3) 貸倒引当金（ ）	33,082
(4) 貯蔵品	237,997
3 繰延資産	-
負債合計	25,685,915
1 固定負債	17,998,280
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	11,875,528
(2) その他の企業債	-
(3) 再建債（特例債含む）	-
(4) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	247,934
(5) その他の長期借入金	-
(6) 引当金	5,874,818
(7) リース債務	-
2 流動負債	6,424,765
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	2,446,693
(2) その他の企業債	-
(3) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	193,252
(4) その他の長期借入金	-
(5) 引当金	513,737
(6) リース債務	-
(7) 一時借入金	-
(8) 未払金及び未払費用	3,075,955
(9) 前受金及び前受収益	537
3 繰延収益	1,262,870
(1) 長期前受金	3,916,481
(2) 長期前受金収益化累計額（ ）	2,653,611
資本合計	-1,706,408
1 資本金	29,019,501
2 剰余金	-30,725,909
(1) 資本金剰余金	684,756
(2) 利益剰余金	-31,410,665
負債・資本合計	23,979,507
不良債務	-
実質資金不足額	-
資本不足額（繰延収益控除後）（ ）	1,706,408
資本不足額（繰延収益控除後）（ ）	443,538
備考	
当該貸借対照表の数値は、事業単位（当該団体は1事業に経営している病院が2以上ある）の決算額である。	

他会計からの繰入状況（千円）		
区分	基準額	実繰入額
収益勘定繰入	1,188,954	1,462,659
資本勘定繰入	737,183	737,183
計	1,926,137	2,199,842

不良債務額・不良債務比率の過去3ヵ年推移		
年度	不良債務額（千円）	不良債務比率（%）
30年度	-	-
29年度	-	-
28年度	-	-

資金不足等の状況	
累積欠損金比率（%）	133.9
健全化法上の資金不足額（千円）	-
健全化法上の資金不足比率（%）	-
地財法上の資金不足額（千円）	-
地財法上の資金不足比率（%）	-

備考：  
・「不良債務額」、「不良債務比率」、「累積欠損金比率」は病院事業単位で算出し、「健全化法上の資金不足額」、「健全化法上の資金不足比率」、「地財法上の資金不足額」、「地財法上の資金不足比率」は特別会計単位で算出している。  
・設立団体の経常収支比率とは、地方公共団体の財政構造の弾力性を判断するための指標で、人件費、扶助費、公債費のように毎年度経常的に支出される経費（経常的経費）に充当された一般財源の額が、地方税、普通交付税を中心とする毎年度経常的に収入される一般財源（経常一般財源）、減収補填債特例分及び臨時財政対策債の合計額に占める割合をいう。

<b>病院事業決算状況</b> <b>( 30 年度 )</b>				都道府県名	広島県
				市町村・組合名	
				病院名	県立安芸津病院
施設及び業務概況等					
法適用区分	条例全部	特殊診療機能	ド I 訓		
病院区分	一般病院	不採算地区病院	第2種該当		
建物面積	11,654 m <sup>2</sup>	指定病院の状況	救 輪		
診療科数	10	看護配置	10 : 1		
許可公営企業		経営形態	直営		
DPC対象病院	-	類似区分	50床以上～100床未満		

特殊診療機能欄 ド...人間ドック 透...人工透析 I...ICU・CCU 未...NICU・未熟児室 訓...運動機能訓練室 ガ...ガン（放射線）診療  
指定病院の状況欄 救...救急告示病院 臨...臨床研修病院 が...がん診療連携拠点病院 感...感染症指定医療機関 へ...へき地区医療拠点病院 災...災害拠点病院  
地...地域医療支援病院 特...特定機能病院 輪...病院群輪番制病院

病床利用率・平均在院日数（%・日）				
区分	病床数	30年度	29年度	28年度
一般	98	80.1	93.8	91.2
療養	-	-	-	-
結核	-	-	-	-
精神	-	-	-	-
感染症	-	-	-	-
計	98	80.1	93.8	91.2
平均在院日数（一般病床のみ）		26.7	19.7	20.3

設立団体の状況		
人口（人）	2,843,990	
決算規模（千円）	900,876,841	
標準財政規模（千円）	565,878,591	
財政力指数	0.61429	
経常収支比率（%）	93.9	
健全化判断比率	実質赤字比率（%）	-
	連結実質赤字比率（%）	-
	実質公債費比率（%）	13.6
	将来負担比率（%）	220.3

修正医業収支の状況	
修正医業収支比率（%）	76.0
修正医業収支金額（千円）	1,497,653

損益計算書（千円・%）				
区分	決算額	費用 医業収益	全国平均	類似平均
総収益	1,895,430			
1 経常収益	1,895,430			
(1) 医業収益	1,571,502			
入院収益	967,043			
外来収益	481,821			
診療収入計	1,448,864			
その他医業収益	122,638			
(うち他会計負担金)	73,849			
(2) 医業外収益	323,928			
(うち国・都道府県補助金)	-			
(うち他会計補助・負担金)	252,954			
(うち長期前受金戻入)	47,708			
(うち資本費繰入収益)	-			
(3) 特別利益	-			
(うち他会計繰入金)	-			
総費用	2,106,543			
2 経常費用	2,031,605			
(1) 医業費用	1,971,384			
職員給与費	1,198,392	76.3	56.0	71.8
材料費	292,363	18.6	24.1	16.5
(うち薬品費)	138,052	8.8	12.6	10.1
(うち薬品費以外の医薬材料費)	152,635	9.7	11.1	5.6
減価償却費	97,358	6.2	9.2	12.2
経費	376,536	24.0	23.2	31.2
(うち委託料)	225,520	14.4	11.3	12.3
研究研修費	4,183			
資産減耗費	2,552			
(2) 医業外費用	60,221			
(うち支払利息)	988	0.1	1.6	1.9
(3) 特別損失	74,938			
損益				
経常損益	-136,175			
純損益	-211,113			
累積欠損金	8,058,644			
経常収支比率	93.3		98.2	97.1
医業収支比率	79.7		88.3	75.5
他会計繰入金対経常収益比率	17.2		12.5	22.9
他会計繰入金対医業収益比率	20.8		14.6	31.3
他会計繰入金対総収益比率	17.2		12.5	22.9
実質収益対経常費用比率	77.2		86.0	74.9

備考：  
「類似平均」については類似区分（一般病院の500床以上、同400床以上500床未満、同300床以上400床未満、同200床以上300床未満、同100床以上200床未満、同50床以上100床未満、同50床未満、結核病院、精神科病院、建設中）に基づき算出している。

貸借対照表（千円・%）	
区分	決算額
資産合計	23,979,507
1 固定資産	17,696,997
(1) 有形固定資産	17,292,835
(2) 無形固定資産	13,928
(3) 投資その他の資産	390,234
2 流動資産	6,282,510
(1) 現金及び預金	1,757,781
(2) 未収金及び未収収益	4,244,806
(3) 貸倒引当金（ ）	33,082
(4) 貯蔵品	237,997
3 繰延資産	-
負債合計	25,685,915
1 固定負債	17,998,280
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	11,875,528
(2) その他の企業債	-
(3) 再建債（特例債含む）	-
(4) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	247,934
(5) その他の長期借入金	-
(6) 引当金	5,874,818
(7) リース債務	-
2 流動負債	6,424,765
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	2,446,693
(2) その他の企業債	-
(3) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	193,252
(4) その他の長期借入金	-
(5) 引当金	513,737
(6) リース債務	-
(7) 一時借入金	-
(8) 未払金及び未払費用	3,075,955
(9) 前受金及び前受収益	537
3 繰延収益	1,262,870
(1) 長期前受金	3,916,481
(2) 長期前受金収益化累計額（ ）	2,653,611
資本合計	-1,706,408
1 資本金	29,019,501
2 剰余金	-30,725,909
(1) 資本金剰余金	684,756
(2) 利益剰余金	-31,410,665
負債・資本合計	23,979,507
不良債務	-
実質資金不足額	-
資本不足額（繰延収益控除後）（ ）	1,706,408
資本不足額（繰延収益控除後）（ ）	443,538
備考	
当該貸借対照表の数値は、事業単位（当該団体は1事業に経営している病院が2以上ある）の決算額である。	

他会計からの繰入状況（千円）		
区分	基準額	実繰入額
収益勘定繰入	320,694	326,803
資本勘定繰入	101,331	101,331
計	422,025	428,134

不良債務額・不良債務比率の過去3ヵ年推移		
年度	不良債務額（千円）	不良債務比率（%）
30年度	-	-
29年度	-	-
28年度	-	-

資金不足等の状況	
累積欠損金比率（%）	133.9
健全化法上の資金不足額（千円）	-
健全化法上の資金不足比率（%）	-
地財法上の資金不足額（千円）	-
地財法上の資金不足比率（%）	-

備考：  
・「不良債務額」、「不良債務比率」、「累積欠損金比率」は病院事業単位で算出し、「健全化法上の資金不足額」、「健全化法上の資金不足比率」、「地財法上の資金不足額」、「地財法上の資金不足比率」は特別会計単位で算出している。  
・設立団体の経常収支比率とは、地方公共団体の財政構造の弾力性を判断するための指標で、人件費、扶助費、公債費のように毎年度経常的に支出される経費（経常的経費）に充当された一般財源の額が、地方税、普通交付税を中心とする毎年度経常的に収入される一般財源（経常一般財源）、減収補填債特例分及び臨時財政対策債の合計額に占める割合をいう。

病院事業決算状況 (30年度)		都道府県名	広島県
		市町村・組合名	広島市
		病院名	広島市民病院
施設及び業務概況等			
法適用区分		特殊診療機能	
病院区分		不採算地区病院	
建物面積	- m <sup>2</sup>	指定病院の状況	
診療科数	-	看護配置	
許可公営企業		経営形態	直営
DPC対象病院	-	類似区分	500床以上

特殊診療機能欄 ド...人間ドック 透...人工透析 I...ICU・CCU 未...NICU・未熟児室 訓...運動機能訓練室 ガ...ガン(放射線)診療  
指定病院の状況欄 救...救急告示病院 臨...臨床研修病院 が...がん診療連携拠点病院 感...感染症指定医療機関 へ...へき地区医療拠点病院 災...災害拠点病院  
地...地域医療支援病院 特...特定機能病院 輪...病院群輪番制病院

病床利用率・平均在院日数 (％・日)				
区分	病床数	30年度	29年度	28年度
一般	-	-	-	-
療養	-	-	-	-
結核	-	-	-	-
精神	-	-	-	-
感染症	-	-	-	-
計	-	-	-	-
平均在院日数(一般病床のみ)		-	-	-

設立団体の状況		
人口(人)	1,194,034	
決算規模(千円)	616,099,558	
標準財政規模(千円)	327,147,073	
財政力指数	0.83	
経常収支比率(%)	98.1	
健全化判断比率	実質赤字比率(%)	-
	連結実質赤字比率(%)	-
	実質公債費比率(%)	13.1
	将来負担比率(%)	190.4

損益計算書 (千円・%)				
区分	決算額	費用 医業収益	全国平均	類似平均
総収益	370,861			
1 経常収益	370,861			
(1) 医業収益	-			
入院収益	-			
外来収益	-			
診療収入計	-			
その他医業収益	-			
(うち他会計負担金)	-			
(2) 医業外収益	370,861			
(うち国・都道府県補助金)	-			
(うち他会計補助・負担金)	-			
(うち長期前受金戻入)	-			
(うち資本費繰入収益)	-			
(3) 特別利益	-			
(うち他会計繰入金)	-			
総費用	370,861			
2 経常費用	370,861			
(1) 医業費用	-			
職員給与費	-	-	56.0	49.8
材料費	-	-	24.1	28.0
(うち薬品費)	-	-	12.6	14.8
(うち薬品費以外の医薬材料費)	-	-	11.1	12.8
減価償却費	-	-	9.2	8.3
経費	-	-	23.2	20.7
(うち委託料)	-	-	11.3	11.4
研究研修費	-	-		
資産減耗費	-	-		
(2) 医業外費用	370,861			
(うち支払利息)	370,861	-	1.6	1.4
(3) 特別損失	-			
損益				
経常損益	-			
純損益	-			
累積欠損金	-			
経常収支比率	100.0		98.2	99.5
医業収支比率	-		88.3	92.8
他会計繰入金対経常収益比率	-		12.5	9.1
他会計繰入金対医業収益比率	-		14.6	10.3
他会計繰入金対総収益比率	-		12.5	9.0
実質収益対経常費用比率	100.0		86.0	90.4

備考：  
「類似平均」については類似区分(一般病院の500床以上、同400床以上500床未満、同300床以上400床未満、同200床以上300床未満、同100床以上200床未満、同50床以上100床未満、同50床未満、結核病院、精神科病院、建設中)に基づき算出している。

貸借対照表 (千円・%)	
区分	決算額
資産合計	-
1 固定資産	-
(1) 有形固定資産	-
(2) 無形固定資産	-
(3) 投資その他の資産	-
2 流動資産	-
(1) 現金及び預金	-
(2) 未収金及び未収収益	-
(3) 貸倒引当金( )	-
(4) 貯蔵品	-
3 繰延資産	-
負債合計	-
1 固定負債	-
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	-
(2) その他の企業債	-
(3) 再建債(特例債含む)	-
(4) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(5) その他の長期借入金	-
(6) 引当金	-
(7) リース債務	-
2 流動負債	-
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	-
(2) その他の企業債	-
(3) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(4) その他の長期借入金	-
(5) 引当金	-
(6) リース債務	-
(7) 一時借入金	-
(8) 未払金及び未払費用	-
(9) 前受金及び前受収益	-
3 繰延収益	-
(1) 長期前受金	-
(2) 長期前受金収益化累計額( )	-
資本合計	-
1 資本金	-
2 剰余金	-
(1) 資本剰余金	-
(2) 利益剰余金	-
負債・資本合計	-
不良債務	-
実質資金不足額	-
資本不足額( )	-
資本不足額(繰延収益控除後)( )	-
備考	

修正医業収支の状況	
修正医業収支比率(%)	-
修正医業収支金額(千円)	-

他会計からの繰入状況(千円)		
区分	基準額	実繰入額
収益勘定繰入	-	-
資本勘定繰入	-	-
計	-	-

不良債務額・不良債務比率の過去3ヵ年推移		
年度	不良債務額(千円)	不良債務比率(%)
30年度	-	-
29年度	-	-
28年度	-	-

資金不足等の状況	
累積欠損金比率(%)	30.7
健全化法上の資金不足額(千円)	-
健全化法上の資金不足比率(%)	-
地財法上の資金不足額(千円)	-
地財法上の資金不足比率(%)	-

備考：  
・「不良債務額」、「不良債務比率」、「累積欠損金比率」は病院事業単位で算出し、「健全化法上の資金不足額」、「健全化法上の資金不足比率」、「地財法上の資金不足額」、「地財法上の資金不足比率」は特別会計単位で算出している。  
・設立団体の経常収支比率とは、地方公共団体の財政構造の弾力性を判断するための指標で、人件費、扶助費、公債費のように毎年度経常的に支出される経費(経常的経費)に充当された一般財源の額が、地方税、普通交付税を中心とする毎年度経常的に収入される一般財源(経常一般財源)、減収補填債特例分及び臨時財政対策債の合計額に占める割合をいう。

<b>病院事業決算状況</b> ( 30 年度)	都道府県名	広島県
	市町村・組合名	広島市
	病院名	安佐市民病院

特殊診療機能欄 ド...人間ドック 透...人工透析 I...ICU・CCU 未...NICU・未熟児室 訓...運動機能訓練室 ガ...ガン（放射線）診療  
 指定病院の状況欄 救...救急告示病院 臨...臨床研修病院 が...がん診療連携拠点病院 感...感染症指定医療機関 へ...へき地区医療拠点病院 災...災害拠点病院  
 地...地域医療支援病院 特...特定機能病院 輪...病院群輪番制病院

病床利用率・平均在院日数（%・日）				
区分	病床数	30年度	29年度	28年度
一般	-	-	-	-
療養	-	-	-	-
結核	-	-	-	-
精神	-	-	-	-
感染症	-	-	-	-
計	-	-	-	-
平均在院日数（一般病床のみ）		-	-	-

設立団体の状況		
人口（人）	1,194,034	
決算規模（千円）	616,099,558	
標準財政規模（千円）	327,147,073	
財政力指数	0.83	
経常収支比率（%）	98.1	
健全化判断比率	実質赤字比率（%）	-
	連結実質赤字比率（%）	-
	実質公債費比率（%）	13.1
	将来負担比率（%）	190.4

施設及び業務概況等			
法適用区分		特殊診療機能	
病院区分		不採算地区病院	
建物面積	- m <sup>2</sup>	指定病院の状況	
診療科数	-	看護配置	
許可公営企業		経営形態	直営
DPC対象病院	-	類似区分	500床以上

修正医業収支の状況	
修正医業収支比率（%）	-
修正医業収支金額（千円）	-

損益計算書（千円・%）				
区分	決算額	費用 医業収益	全国平均	類似平均
総収益	8,352			
1 経常収益	8,352			
(1) 医業収益	-			
入院収益	-			
外来収益	-			
診療収入計	-			
その他医業収益	-			
(うち他会計負担金)	-			
(2) 医業外収益	8,352			
(うち国・都道府県補助金)	-			
(うち他会計補助・負担金)	-			
(うち長期前受金戻入)	-			
(うち資本費繰入収益)	-			
(3) 特別利益	-			
(うち他会計繰入金)	-			
総費用	8,352			
2 経常費用	8,352			
(1) 医業費用	-			
職員給与費	-	-	56.0	49.8
材料費	-	-	24.1	28.0
(うち薬品費)	-	-	12.6	14.8
(うち薬品費以外の医薬材料費)	-	-	11.1	12.8
減価償却費	-	-	9.2	8.3
経費	-	-	23.2	20.7
(うち委託料)	-	-	11.3	11.4
研究研修費	-	-		
資産減耗費	-	-		
(2) 医業外費用	8,352			
(うち支払利息)	8,352	-	1.6	1.4
(3) 特別損失	-			
損益				
経常損益	-			
純損益	-			
累積欠損金	-			
経常収支比率	100.0		98.2	99.5
医業収支比率	-		88.3	92.8
他会計繰入金対経常収益比率	-		12.5	9.1
他会計繰入金対医業収益比率	-		14.6	10.3
他会計繰入金対総収益比率	-		12.5	9.0
実質収益対経常費用比率	100.0		86.0	90.4

備考：  
 「類似平均」については類似区分（一般病院の500床以上、同400床以上500床未満、同300床以上400床未満、同200床以上300床未満、同100床以上200床未満、同50床以上100床未満、同50床未満、結核病院、精神科病院、建設中）に基づき算出している。

貸借対照表（千円・%）	
区分	決算額
資産合計	-
1 固定資産	-
(1) 有形固定資産	-
(2) 無形固定資産	-
(3) 投資その他の資産	-
2 流動資産	-
(1) 現金及び預金	-
(2) 未収金及び未収収益	-
(3) 貸倒引当金（ ）	-
(4) 貯蔵品	-
3 繰延資産	-
負債合計	-
1 固定負債	-
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	-
(2) その他の企業債	-
(3) 再建債（特例債含む）	-
(4) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(5) その他の長期借入金	-
(6) 引当金	-
(7) リース債務	-
2 流動負債	-
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	-
(2) その他の企業債	-
(3) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(4) その他の長期借入金	-
(5) 引当金	-
(6) リース債務	-
(7) 一時借入金	-
(8) 未払金及び未払費用	-
(9) 前受金及び前受収益	-
3 繰延収益	-
(1) 長期前受金	-
(2) 長期前受金収益化累計額（ ）	-
資本合計	-
1 資本金	-
2 剰余金	-
(1) 資本剰余金	-
(2) 利益剰余金	-
負債・資本合計	-
不良債務	-
実質資金不足額	-
資金不足額（ ）	-
資本不足額（繰延収益控除後）（ ）	-
備考	

他会計からの繰入状況（千円）		
区分	基準額	実繰入額
収益勘定繰入	-	-
資本勘定繰入	-	-
計	-	-

不良債務額・不良債務比率の過去3ヵ年推移		
年度	不良債務額（千円）	不良債務比率（%）
30年度	-	-
29年度	-	-
28年度	-	-

資金不足等の状況	
累積欠損金比率（%）	30.7
健全化法上の資金不足額（千円）	-
健全化法上の資金不足比率（%）	-
地財法上の資金不足額（千円）	-
地財法上の資金不足比率（%）	-

備考：  
 ・「不良債務額」、「不良債務比率」、「累積欠損金比率」は病院事業単位で算出し、「健全化法上の資金不足額」、「健全化法上の資金不足比率」、「地財法上の資金不足額」、「地財法上の資金不足比率」は特別会計単位で算出している。  
 ・設立団体の経常収支比率とは、地方公共団体の財政構造の弾力性を判断するための指標で、人件費、扶助費、公債費のように毎年度経常的に支出される経費（経常的経費）に充当された一般財源の額が、地方税、普通交付税を中心とする毎年度経常的に収入される一般財源（経常一般財源）、減収補填債特例分及び臨時財政対策債の合計額に占める割合をいう。

病院事業決算状況 (30年度)		都道府県名	広島県
		市町村・組合名	広島市
		病院名	舟入市民病院
施設及び業務概況等			
法適用区分		特殊診療機能	
病院区分		不採算地区病院	
建物面積	- m <sup>2</sup>	指定病院の状況	
診療科数	-	看護配置	
許可公営企業		経営形態	直営
DPC対象病院	-	類似区分	100床以上～200床未満

特殊診療機能欄 ド...人間ドック 透...人工透析 I...ICU・CCU 未...NICU・未熟児室 訓...運動機能訓練室 ガ...ガン(放射線)診療  
指定病院の状況欄 救...救急告示病院 臨...臨床研修病院 が...がん診療連携拠点病院 感...感染症指定医療機関 へ...へき地区医療拠点病院 災...災害拠点病院  
地...地域医療支援病院 特...特定機能病院 輪...病院群輪番制病院

病床利用率・平均在院日数 (%・日)				
区分	病床数	30年度	29年度	28年度
一般	-	-	-	-
療養	-	-	-	-
結核	-	-	-	-
精神	-	-	-	-
感染症	-	-	-	-
計	-	-	-	-
平均在院日数(一般病床のみ)		-	-	-

設立団体の状況		
人口(人)	1,194,034	
決算規模(千円)	616,099,558	
標準財政規模(千円)	327,147,073	
財政力指数	0.83	
経常収支比率(%)	98.1	
健全化判断比率	実質赤字比率(%)	-
	連結実質赤字比率(%)	-
	実質公債費比率(%)	13.1
	将来負担比率(%)	190.4

損益計算書 (千円・%)				
区分	決算額	費用 医業収益	全国平均	類似平均
総収益	84,810			
1 経常収益	84,810			
(1) 医業収益	-			
入院収益	-			
外来収益	-			
診療収入計	-			
その他医業収益	-			
(うち他会計負担金)	-			
(2) 医業外収益	84,810			
(うち国・都道府県補助金)	-			
(うち他会計補助・負担金)	-			
(うち長期前受金戻入)	-			
(うち資本費繰入収益)	-			
(3) 特別利益	-			
(うち他会計繰入金)	-			
総費用	84,810			
2 経常費用	84,810			
(1) 医業費用	-			
職員給与費	-	-	56.0	61.8
材料費	-	-	24.1	17.7
(うち薬品費)	-	-	12.6	8.9
(うち薬品費以外の医薬材料費)	-	-	11.1	8.2
減価償却費	-	-	9.2	10.4
経費	-	-	23.2	29.9
(うち委託料)	-	-	11.3	12.9
研究研修費	-	-		
資産減耗費	-	-		
(2) 医業外費用	84,810			
(うち支払利息)	84,810	-	1.6	1.7
(3) 特別損失	-			
損益				
経常損益	-			
純損益	-			
累積欠損金	-			
経常収支比率	100.0		98.2	96.7
医業収支比率	-		88.3	83.0
他会計繰入金対経常収益比率	-		12.5	16.6
他会計繰入金対医業収益比率	-		14.6	20.5
他会計繰入金対総収益比率	-		12.5	16.8
実質収益対経常費用比率	100.0		86.0	80.7

備考：  
「類似平均」については類似区分(一般病院の500床以上、同400床以上500床未満、同300床以上400床未満、同200床以上300床未満、同100床以上200床未満、同50床以上100床未満、同50床未満、結核病院、精神科病院、建設中)に基づき算出している。

貸借対照表 (千円・%)	
区分	決算額
資産合計	-
1 固定資産	-
(1) 有形固定資産	-
(2) 無形固定資産	-
(3) 投資その他の資産	-
2 流動資産	-
(1) 現金及び預金	-
(2) 未収金及び未収収益	-
(3) 貸倒引当金( )	-
(4) 貯蔵品	-
3 繰延資産	-
負債合計	-
1 固定負債	-
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	-
(2) その他の企業債	-
(3) 再建債(特例債含む)	-
(4) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(5) その他の長期借入金	-
(6) 引当金	-
(7) リース債務	-
2 流動負債	-
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	-
(2) その他の企業債	-
(3) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(4) その他の長期借入金	-
(5) 引当金	-
(6) リース債務	-
(7) 一時借入金	-
(8) 未払金及び未払費用	-
(9) 前受金及び前受収益	-
3 繰延収益	-
(1) 長期前受金	-
(2) 長期前受金収益化累計額( )	-
資本合計	-
1 資本金	-
2 剰余金	-
(1) 資本剰余金	-
(2) 利益剰余金	-
負債・資本合計	-
不良債務	-
実質資金不足額	-
資本不足額( )	-
資本不足額(繰延収益控除後)( )	-
備考	

修正医業収支の状況	
修正医業収支比率(%)	-
修正医業収支金額(千円)	-

他会計からの繰入状況(千円)		
区分	基準額	実繰入額
収益勘定繰入	-	-
資本勘定繰入	-	-
計	-	-

不良債務額・不良債務比率の過去3ヵ年推移		
年度	不良債務額(千円)	不良債務比率(%)
30年度	-	-
29年度	-	-
28年度	-	-

資金不足等の状況	
累積欠損金比率(%)	30.7
健全化法上の資金不足額(千円)	-
健全化法上の資金不足比率(%)	-
地財法上の資金不足額(千円)	-
地財法上の資金不足比率(%)	-

備考：  
・「不良債務額」、「不良債務比率」、「累積欠損金比率」は病院事業単位で算出し、「健全化法上の資金不足額」、「健全化法上の資金不足比率」、「地財法上の資金不足額」、「地財法上の資金不足比率」は特別会計単位で算出している。  
・設立団体の経常収支比率とは、地方公共団体の財政構造の弾力性を判断するための指標で、人件費、扶助費、公債費のように毎年度経常的に支出される経費(経常的経費)に充当された一般財源の額が、地方税、普通交付税を中心とする毎年度経常的に収入される一般財源(経常一般財源)、減収補填債特例分及び臨時財政対策債の合計額に占める割合をいう。

<b>病院事業決算状況</b> (30年度)	都道府県名	広島県
	市町村・組合名	広島市
	病院名	安芸市民病院

施設及び業務概況等			
法適用区分	当然財務	特殊診療機能	透訓
病院区分	一般病院	不採算地区病院	非該当
建物面積	7,901 m <sup>2</sup>	指定病院の状況	救 輪
診療科数	6	看護配置	10:1
許可公営企業		経営形態	指定管理者(代行制)
DPC対象病院	-	類似区分	100床以上~200床未満

特殊診療機能欄 ド...人間ドック 透...人工透析 I...ICU・CCU 未...NICU・未熟児室 訓...運動機能訓練室 ガ...ガン(放射線)診療  
 指定病院の状況欄 救...救急告示病院 臨...臨床研修病院 が...がん診療連携拠点病院 感...感染症指定医療機関 へ...へき地区医療拠点病院 災...災害拠点病院  
 地...地域医療支援病院 特...特定機能病院 輪...病院群輪番制病院

病床利用率・平均在院日数 (%・日)				
区分	病床数	30年度	29年度	28年度
一般	80	88.1	91.8	91.0
療養	60	97.3	98.0	95.6
結核	-	-	-	-
精神	-	-	-	-
感染症	-	-	-	-
計	140	92.1	94.5	92.9
平均在院日数(一般病床のみ)		22.4	21.0	20.5

設立団体の状況		
人口(人)	1,194,034	
決算規模(千円)	616,099,558	
標準財政規模(千円)	327,147,073	
財政力指数	0.83	
経常収支比率(%)	98.1	
健全化判断比率	実質赤字比率(%)	-
	連結実質赤字比率(%)	-
	実質公債費比率(%)	13.1
	将来負担比率(%)	190.4

損益計算書 (千円・%)				
区分	決算額	費用 医業収益	全国平均	類似平均
総収益	2,062,545			
1 経常収益	2,062,403			
(1) 医業収益	1,813,460			
入院収益	1,323,377			
外来収益	401,118			
診療収入計	1,724,495			
その他医業収益	88,965			
(うち他会計負担金)	13,695			
(2) 医業外収益	248,943			
(うち国・都道府県補助金)	6,596			
(うち他会計補助・負担金)	93,093			
(うち長期前受金戻入)	63,415			
(うち資本費繰入収益)	-			
(3) 特別利益	142			
(うち他会計繰入金)	-			
総費用	2,064,552			
2 経常費用	2,059,785			
(1) 医業費用	2,033,463			
職員給与費	7,881	0.4	56.0	61.8
材料費	-	-	24.1	17.7
(うち薬品費)	-	-	12.6	8.9
(うち薬品費以外の医薬材料費)	-	-	11.1	8.2
減価償却費	118,930	6.6	9.2	10.4
経費	1,904,002	105.0	23.2	29.9
(うち委託料)	96,632	5.3	11.3	12.9
研究研修費	-	-	-	-
資産減耗費	2,650	-	-	-
(2) 医業外費用	26,322	-	-	-
(うち支払利息)	26,322	1.5	1.6	1.7
(3) 特別損失	4,767	-	-	-
損益				
経常損益	2,618			
純損益	-2,007			
累積欠損金	556,414			
経常収支比率	100.1		98.2	96.7
医業収支比率	89.2		88.3	83.0
他会計繰入金対経常収益比率	5.2		12.5	16.6
他会計繰入金対医業収益比率	5.9		14.6	20.5
他会計繰入金対総収益比率	5.2		12.5	16.8
実質収益対経常費用比率	94.9		86.0	80.7

備考：  
「類似平均」については類似区分(一般病院の500床以上、同400床以上500床未満、同300床以上400床未満、同200床以上300床未満、同100床以上200床未満、同50床以上100床未満、同50床未満、結核病院、精神科病院、建設中)に基づき算出している。

貸借対照表 (千円・%)	
区分	決算額
資産合計	3,040,251
1 固定資産	2,578,296
(1) 有形固定資産	2,577,496
(2) 無形固定資産	-
(3) 投資その他の資産	800
2 流動資産	461,955
(1) 現金及び預金	12,823
(2) 未収金及び未収収益	462,221
(3) 貸倒引当金( )	14,604
(4) 貯蔵品	-
3 繰延資産	-
負債合計	2,296,196
1 固定負債	1,460,796
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	1,418,887
(2) その他の企業債	-
(3) 再建債(特例債含む)	-
(4) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	41,909
(5) その他の長期借入金	-
(6) 引当金	-
(7) リース債務	-
2 流動負債	572,463
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	164,710
(2) その他の企業債	-
(3) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(4) その他の長期借入金	-
(5) 引当金	329
(6) リース債務	-
(7) 一時借入金	260,000
(8) 未払金及び未払費用	145,442
(9) 前受金及び前受収益	-
3 繰延収益	262,937
(1) 長期前受金	796,684
(2) 長期前受金収益化累計額( )	533,747
資本合計	744,055
1 資本金	493,740
2 剰余金	250,315
(1) 資本金剰余金	806,729
(2) 利益剰余金	-556,414
負債・資本合計	3,040,251
不良債務	-
実質資金不足額	-
資本不足額(繰延収益控除後)	-
備考	
当該貸借対照表の数値は、事業単位(当該団体は1事業に経営している病院が2以上ある)の決算額である。	

修正医業収支の状況	
修正医業収支比率(%)	88.5
修正医業収支金額(千円)	1,799,765

他会計からの繰入状況(千円)		
区分	基準額	実繰入額
収益勘定繰入	95,905	106,788
資本勘定繰入	90,630	101,818
計	186,535	208,606

不良債務額・不良債務比率の過去3ヵ年推移		
年度	不良債務額(千円)	不良債務比率(%)
30年度	-	-
29年度	-	-
28年度	-	-

資金不足等の状況	
累積欠損金比率(%)	30.7
健全化法上の資金不足額(千円)	-
健全化法上の資金不足比率(%)	-
地財法上の資金不足額(千円)	-
地財法上の資金不足比率(%)	-

備考：  
・「不良債務額」、「不良債務比率」、「累積欠損金比率」は病院事業単位で算出し、「健全化法上の資金不足額」、「健全化法上の資金不足比率」、「地財法上の資金不足額」、「地財法上の資金不足比率」は特別会計単位で算出している。  
・設立団体の経常収支比率とは、地方公共団体の財政構造の弾力性を判断するための指標で、人件費、扶助費、公債費のように毎年度経常的に支出される経費(経常的経費)に充当された一般財源の額が、地方税、普通交付税を中心とする毎年度経常的に収入される一般財源(経常一般財源)、減収補填債特例分及び臨時財政対策債の合計額に占める割合をいう。

病院事業決算状況 (30年度)		都道府県名	広島県
		市町村・組合名	広島市
		病院名	リハビリテーション病院
施設及び業務概況等			
法適用区分		特殊診療機能	
病院区分		不採算地区病院	
建物面積	- m <sup>2</sup>	指定病院の状況	
診療科数	-	看護配置	
許可公営企業		経営形態	直営
DPC対象病院	-	類似区分	100床以上～200床未満

特殊診療機能欄 ド...人間ドック 透...人工透析 I...ICU・CCU 未...NICU・未熟児室 訓...運動機能訓練室 ガ...ガン(放射線)診療  
指定病院の状況欄 救...救急告示病院 臨...臨床研修病院 が...がん診療連携拠点病院 感...感染症指定医療機関 へ...へき地区医療拠点病院 災...災害拠点病院  
地...地域医療支援病院 特...特定機能病院 輪...病院群輪番制病院

病床利用率・平均在院日数 (％・日)				
区分	病床数	30年度	29年度	28年度
一般	-	-	-	-
療養	-	-	-	-
結核	-	-	-	-
精神	-	-	-	-
感染症	-	-	-	-
計	-	-	-	-
平均在院日数(一般病床のみ)		-	-	-

設立団体の状況		
人口(人)	1,194,034	
決算規模(千円)	616,099,558	
標準財政規模(千円)	327,147,073	
財政力指数	0.83	
経常収支比率(%)	98.1	
健全化判断比率	実質赤字比率(%)	-
	連結実質赤字比率(%)	-
	実質公債費比率(%)	13.1
	将来負担比率(%)	190.4

損益計算書 (千円・%)				
区分	決算額	費用 医業収益	全国平均	類似平均
総収益	53,562			
1 経常収益	53,562			
(1) 医業収益	-			
入院収益	-			
外来収益	-			
診療収入計	-			
その他医業収益	-			
(うち他会計負担金)	-			
(2) 医業外収益	53,562			
(うち国・都道府県補助金)	-			
(うち他会計補助・負担金)	-			
(うち長期前受金戻入)	-			
(うち資本費繰入収益)	-			
(3) 特別利益	-			
(うち他会計繰入金)	-			
総費用	53,562			
2 経常費用	53,562			
(1) 医業費用	-			
職員給与費	-	-	56.0	61.8
材料費	-	-	24.1	17.7
(うち薬品費)	-	-	12.6	8.9
(うち薬品費以外の医薬材料費)	-	-	11.1	8.2
減価償却費	-	-	9.2	10.4
経費	-	-	23.2	29.9
(うち委託料)	-	-	11.3	12.9
研究研修費	-			
資産減耗費	-			
(2) 医業外費用	53,562			
(うち支払利息)	53,562	-	1.6	1.7
(3) 特別損失	-			
損益				
経常損益	-			
純損益	-			
累積欠損金	-			
経常収支比率	100.0		98.2	96.7
医業収支比率	-		88.3	83.0
他会計繰入金対経常収益比率	-		12.5	16.6
他会計繰入金対医業収益比率	-		14.6	20.5
他会計繰入金対総収益比率	-		12.5	16.8
実質収益対経常費用比率	100.0		86.0	80.7

備考：  
「類似平均」については類似区分(一般病院の500床以上、同400床以上500床未満、同300床以上400床未満、同200床以上300床未満、同100床以上200床未満、同50床以上100床未満、同50床未満、結核病院、精神科病院、建設中)に基づき算出している。

貸借対照表 (千円・%)	
区分	決算額
資産合計	-
1 固定資産	-
(1) 有形固定資産	-
(2) 無形固定資産	-
(3) 投資その他の資産	-
2 流動資産	-
(1) 現金及び預金	-
(2) 未収金及び未収収益	-
(3) 貸倒引当金( )	-
(4) 貯蔵品	-
3 繰延資産	-
負債合計	-
1 固定負債	-
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	-
(2) その他の企業債	-
(3) 再建債(特例債含む)	-
(4) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(5) その他の長期借入金	-
(6) 引当金	-
(7) リース債務	-
2 流動負債	-
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	-
(2) その他の企業債	-
(3) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(4) その他の長期借入金	-
(5) 引当金	-
(6) リース債務	-
(7) 一時借入金	-
(8) 未払金及び未払費用	-
(9) 前受金及び前受収益	-
3 繰延収益	-
(1) 長期前受金	-
(2) 長期前受金収益化累計額( )	-
資本合計	-
1 資本金	-
2 剰余金	-
(1) 資本剰余金	-
(2) 利益剰余金	-
負債・資本合計	-
不良債務	-
実質資金不足額	-
資金不足額( )	-
資本不足額(繰延収益控除後)( )	-
備考	

修正医業収支の状況	
修正医業収支比率(%)	-
修正医業収支金額(千円)	-

他会計からの繰入状況(千円)		
区分	基準額	実繰入額
収益勘定繰入	-	-
資本勘定繰入	-	-
計	-	-

不良債務額・不良債務比率の過去3ヵ年推移		
年度	不良債務額(千円)	不良債務比率(%)
30年度	-	-
29年度	-	-
28年度	-	-

資金不足等の状況	
累積欠損金比率(%)	30.7
健全化法上の資金不足額(千円)	-
健全化法上の資金不足比率(%)	-
地財法上の資金不足額(千円)	-
地財法上の資金不足比率(%)	-

備考：  
・「不良債務額」、「不良債務比率」、「累積欠損金比率」は病院事業単位で算出し、「健全化法上の資金不足額」、「健全化法上の資金不足比率」、「地財法上の資金不足額」、「地財法上の資金不足比率」は特別会計単位で算出している。  
・設立団体の経常収支比率とは、地方公共団体の財政構造の弾力性を判断するための指標で、人件費、扶助費、公債費のように毎年度経常的に支出される経費(経常的経費)に充当された一般財源の額が、地方税、普通交付税を中心とする毎年度経常的に収入される一般財源(経常一般財源)、減収補填債特例分及び臨時財政対策債の合計額に占める割合をいう。



<b>病院事業決算状況</b> ( 30 年度)	都道府県名	広島県
	市町村・組合名	呉市
	病院名	公立下蒲刈病院

施設及び業務概況等			
法適用区分	当然財務	特殊診療機能	ド 訓
病院区分	一般病院	不採算地区病院	第2種該当
建物面積	2,909 m <sup>2</sup>	指定病院の状況	救
診療科数	12	看護配置	15:1
許可公営企業		経営形態	直営
DPC対象病院	-	類似区分	50床未満

特殊診療機能欄 ド...人間ドック 透...人工透析 I...ICU・CCU 未...NICU・未熟児室 訓...運動機能訓練室 ガ...ガン(放射線)診療  
 指定病院の状況欄 救...救急告示病院 臨...臨床研修病院 が...がん診療連携拠点病院 感...感染症指定医療機関 へ...へき地区医療拠点病院 災...災害拠点病院  
 地...地域医療支援病院 特...特定機能病院 輪...病院群輪番制病院

病床利用率・平均在院日数 (%・日)				
区分	病床数	30年度	29年度	28年度
一般	49	78.3	82.6	82.0
療養	-	-	-	-
結核	-	-	-	-
精神	-	-	-	-
感染症	-	-	-	-
計	49	78.3	82.6	82.0
平均在院日数(一般病床のみ)		39.0	36.6	37.2

設立団体の状況		
人口(人)	228,552	
決算規模(千円)	104,317,754	
標準財政規模(千円)	55,502,958	
財政力指数	0.61	
経常収支比率(%)	96.1	
健全化判断比率	実質赤字比率(%)	-
	連結実質赤字比率(%)	-
	実質公債費比率(%)	10.5
	将来負担比率(%)	86.6

損益計算書 (千円・%)				
区分	決算額	費用 医業収益	全国平均	類似平均
総収益	652,101			
1 経常収益	652,013			
(1) 医業収益	506,582			
入院収益	281,944			
外来収益	163,022			
診療収入計	444,966			
その他医業収益	61,616			
(うち他会計負担金)	47,844			
(2) 医業外収益	145,431			
(うち国・都道府県補助金)	299			
(うち他会計補助・負担金)	129,452			
(うち長期前受金戻入)	9,181			
(うち資本費繰入収益)	-			
(3) 特別利益	88			
(うち他会計繰入金)	-			
総費用	683,425			
2 経常費用	683,425			
(1) 医業費用	670,388			
職員給与費	479,755	94.7	56.0	81.3
材料費	36,168	7.1	24.1	14.4
(うち薬品費)	21,384	4.2	12.6	8.6
(うち薬品費以外の医薬材料費)	14,711	2.9	11.1	5.1
減価償却費	46,590	9.2	9.2	13.4
経費	106,598	21.0	23.2	47.5
(うち委託料)	72,925	14.4	11.3	20.0
研究研修費	876			
資産減耗費	401			
(2) 医業外費用	13,037			
(うち支払利息)	1,937	0.4	1.6	1.4
(3) 特別損失	-			
損益				
経常損益	-31,412			
純損益	-31,324			
累積欠損金	265,875			
経常収支比率	95.4		98.2	96.3
医業収支比率	75.6		88.3	63.4
他会計繰入金対経常収益比率	27.2		12.5	32.8
他会計繰入金対医業収益比率	35.0		14.6	53.9
他会計繰入金対総収益比率	27.2		12.5	33.3
実質収益対経常費用比率	69.5		86.0	64.8

備考：  
「類似平均」については類似区分(一般病院の500床以上、同400床以上500床未満、同300床以上400床未満、同200床以上300床未満、同100床以上200床未満、同50床以上100床未満、同50床未満、結核病院、精神科病院、建設中)に基づき算出している。

貸借対照表 (千円・%)	
区分	決算額
資産合計	847,418
1 固定資産	633,921
(1) 有形固定資産	630,226
(2) 無形固定資産	171
(3) 投資その他の資産	3,524
2 流動資産	213,497
(1) 現金及び預金	140,813
(2) 未収金及び未収収益	69,332
(3) 貸倒引当金( )	223
(4) 貯蔵品	3,575
3 繰延資産	-
負債合計	388,663
1 固定負債	109,220
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	50,626
(2) その他の企業債	-
(3) 再建債(特例債含む)	-
(4) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(5) その他の長期借入金	-
(6) 引当金	58,594
(7) リース債務	-
2 流動負債	70,995
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	16,959
(2) その他の企業債	-
(3) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(4) その他の長期借入金	-
(5) 引当金	28,219
(6) リース債務	-
(7) 一時借入金	-
(8) 未払金及び未払費用	22,620
(9) 前受金及び前受収益	-
3 繰延収益	208,448
(1) 長期前受金	403,784
(2) 長期前受金収益化累計額( )	195,336
資本合計	458,755
1 資本金	724,619
2 剰余金	-265,864
(1) 資本剰余金	11
(2) 利益剰余金	-265,875
負債・資本合計	847,418
不良債務	-
実質資金不足額	-
資金不足額( )	-
資本不足額(繰延収益控除後)( )	-
備考	

修正医業収支の状況	
修正医業収支比率(%)	68.4
修正医業収支金額(千円)	458,738

他会計からの繰入状況(千円)		
区分	基準額	実繰入額
収益勘定繰入	176,948	177,296
資本勘定繰入	30,620	30,620
計	207,568	207,916

不良債務額・不良債務比率の過去3ヵ年推移		
年度	不良債務額(千円)	不良債務比率(%)
30年度	-	-
29年度	-	-
28年度	-	-

資金不足等の状況	
累積欠損金比率(%)	52.5
健全化法上の資金不足額(千円)	-
健全化法上の資金不足比率(%)	-
地財法上の資金不足額(千円)	-
地財法上の資金不足比率(%)	-

備考：  
 ・「不良債務額」、「不良債務比率」、「累積欠損金比率」は病院事業単位で算出し、「健全化法上の資金不足額」、「健全化法上の資金不足比率」、「地財法上の資金不足額」、「地財法上の資金不足比率」は特別会計単位で算出している。  
 ・設立団体の経常収支比率とは、地方公共団体の財政構造の弾力性を判断するための指標で、人件費、扶助費、公債費のように毎年度経常的に支出される経費(経常的経費)に充当された一般財源の額が、地方税、普通交付税を中心とする毎年度経常的に収入される一般財源(経常一般財源)、減収補填債特例分及び臨時財政対策債の合計額に占める割合をいう。

<b>病院事業決算状況</b> <b>( 30 年度 )</b>				都道府県名	広島県
				市町村・組合名	尾道市
				病院名	尾道市立市民病院
施設及び業務概況等					
法適用区分	条例全部	特殊診療機能	ド透Ⅰ訓ガ		
病院区分	一般病院	不採算地区病院	非該当		
建物面積	28,438 m <sup>2</sup>	指定病院の状況	救臨地輪		
診療科数	24	看護配置	7:1		
許可公営企業		経営形態	直営		
DPC対象病院	対象	類似区分	200床以上~300床未満		

特殊診療機能欄 ド...人間ドック 透...人工透析 I...ICU・CCU 未...NICU・未熟児室 訓...運動機能訓練室 ガ...ガン(放射線)診療  
指定病院の状況欄 救...救急告示病院 臨...臨床研修病院 が...がん診療連携拠点病院 感...感染症指定医療機関 へ...へき地区医療拠点病院 災...災害拠点病院  
地...地域医療支援病院 特...特定機能病院 輪...病院群輪番制病院

病床利用率・平均在院日数 ( %・日 )				
区分	病床数	30 年度	29 年度	28 年度
一般	290	77.3	75.4	68.7
療養	-	-	-	-
結核	-	-	-	-
精神	-	-	-	-
感染症	-	-	-	-
計	290	77.3	75.4	68.7
平均在院日数(一般病床のみ)		15.4	15.4	14.3

設立団体の状況		
人口(人)	138,626	
決算規模(千円)	61,498,242	
標準財政規模(千円)	34,958,257	
財政力指数	0.57	
経常収支比率(%)	95.5	
健全化判断比率	実質赤字比率(%)	-
	連結実質赤字比率(%)	-
	実質公債費比率(%)	6.4
	将来負担比率(%)	34.7

修正医業収支の状況	
修正医業収支比率(%)	89.9
修正医業収支金額(千円)	6,313,600

損益計算書 (千円・%)				
区分	決算額	費用 医業収益	全国平均	類似平均
総収益	7,393,852			
1 経常収益	7,189,199			
(1) 医業収益	6,711,170			
入院収益	4,674,461			
外来収益	1,449,563			
診療収入計	6,124,024			
その他医業収益	587,146			
(うち他会計負担金)	397,570			
(2) 医業外収益	478,029			
(うち国・都道府県補助金)	-			
(うち他会計補助・負担金)	378,019			
(うち長期前受金戻入)	34,794			
(うち資本費繰入収益)	-			
(3) 特別利益	204,653			
(うち他会計繰入金)	200,000			
総費用	7,323,771			
2 経常費用	7,316,678			
(1) 医業費用	7,020,484			
職員給与費	3,930,329	58.6	56.0	59.3
材料費	1,354,144	20.2	24.1	19.3
(うち薬品費)	598,787	8.9	12.6	9.6
(うち薬品費以外の医薬材料費)	754,204	11.2	11.1	9.2
減価償却費	491,796	7.3	9.2	10.3
経費	1,211,584	18.1	23.2	27.6
(うち委託料)	753,699	11.2	11.3	12.3
研究研修費	25,308			
資産減耗費	7,323			
(2) 医業外費用	296,194			
(うち支払利息)	41,178	0.6	1.6	1.7
(3) 特別損失	7,093			
損益				
経常損益	-127,479			
純損益	70,081			
累積欠損金	451,581			
経常収支比率	98.3		98.2	96.7
医業収支比率	95.6		88.3	85.5
他会計繰入金対経常収益比率	10.8		12.5	13.7
他会計繰入金対医業収益比率	11.6		14.6	16.4
他会計繰入金対総収益比率	13.2		12.5	14.0
実質収益対経常費用比率	87.7		86.0	83.4

備考：  
「類似平均」については類似区分(一般病院の500床以上、同400床以上500床未満、同300床以上400床未満、同200床以上300床未満、同100床以上200床未満、同50床以上100床未満、同50床未満、結核病院、精神科病院、建設中)に基づき算出している。

貸借対照表 (千円・%)	
区分	決算額
資産合計	20,605,096
1 固定資産	13,322,684
(1) 有形固定資産	13,050,764
(2) 無形固定資産	1,970
(3) 投資その他の資産	269,950
2 流動資産	7,282,412
(1) 現金及び預金	5,294,778
(2) 未収金及び未収収益	1,938,817
(3) 貸倒引当金( )	1,282
(4) 貯蔵品	46,034
3 繰延資産	-
負債合計	12,106,895
1 固定負債	7,620,443
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	3,878,174
(2) その他の企業債	-
(3) 再建債(特例債含む)	-
(4) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(5) その他の長期借入金	-
(6) 引当金	3,683,339
(7) リース債務	58,930
2 流動負債	2,944,526
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	535,901
(2) その他の企業債	-
(3) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(4) その他の長期借入金	-
(5) 引当金	959,661
(6) リース債務	7,389
(7) 一時借入金	-
(8) 未払金及び未払費用	1,382,245
(9) 前受金及び前受収益	-
3 繰延収益	1,541,926
(1) 長期前受金	2,664,660
(2) 長期前受金収益化累計額( )	1,122,734
資本合計	8,498,201
1 資本金	8,399,181
2 剰余金	99,020
(1) 資本剰余金	212,465
(2) 利益剰余金	-113,445
負債・資本合計	20,605,096
不良債務	-
実質資金不足額	-
資本不足額(繰延収益控除後)( )	-
備考	
当該貸借対照表の数値は、事業単位(当該団体は1事業に経営している病院が2以上ある)の決算額である。	

他会計からの繰入状況(千円)		
区分	基準額	実繰入額
収益勘定繰入	1,049,653	975,589
資本勘定繰入	247,395	11,200
計	1,297,048	986,789

不良債務額・不良債務比率の過去3ヵ年推移		
年度	不良債務額(千円)	不良債務比率(%)
30 年度	-	-
29 年度	-	-
28 年度	-	-

資金不足等の状況	
累積欠損金比率(%)	5.5
健全化法上の資金不足額(千円)	-
健全化法上の資金不足比率(%)	-
地財法上の資金不足額(千円)	-
地財法上の資金不足比率(%)	-

備考：  
・「不良債務額」、「不良債務比率」、「累積欠損金比率」は病院事業単位で算出し、「健全化法上の資金不足額」、「健全化法上の資金不足比率」、「地財法上の資金不足額」、「地財法上の資金不足比率」は特別会計単位で算出している。  
・設立団体の経常収支比率とは、地方公共団体の財政構造の弾力性を判断するための指標で、人件費、扶助費、公債費のように毎年度経常的に支出される経費(経常的経費)に充当された一般財源の額が、地方税、普通交付税を中心とする毎年度経常的に収入される一般財源(経常一般財源)、減収補填債特例分及び臨時財政対策債の合計額に占める割合をいう。

<b>病院事業決算状況</b> ( 30 年度 )				都道府県名	広島県
				市町村・組合名	尾道市
				病院名	尾道市公立みつぎ総合病院
施設及び業務概況等					
法適用区分	条例全部	特殊診療機能	ド透I訓		
病院区分	一般病院	不採算地区病院	非該当		
建物面積	20,677 m <sup>2</sup>	指定病院の状況	救臨	輪	
診療科数	21	看護配置	10:1		
許可公営企業		経営形態	直営		
DPC対象病院	対象	類似区分	200床以上~300床未満		

特殊診療機能欄 ド...人間ドック 透...人工透析 I...ICU・CCU 未...NICU・未熟児室 訓...運動機能訓練室 ガ...ガン(放射線)診療  
 指定病院の状況欄 救...救急告示病院 臨...臨床研修病院 が...がん診療連携拠点病院 感...感染症指定医療機関 へ...へき地区医療拠点病院 災...災害拠点病院  
 地...地域医療支援病院 特...特定機能病院 輪...病院群輪番制病院

病床利用率・平均在院日数 ( %・日 )				
区分	病床数	30年度	29年度	28年度
一般	145	87.9	82.9	83.8
療養	95	91.6	94.1	90.4
結核	-	-	-	-
精神	-	-	-	-
感染症	-	-	-	-
計	240	89.4	87.0	86.2
平均在院日数(一般病床のみ)		19.0	19.9	19.0

設立団体の状況		
人口(人)	138,626	
決算規模(千円)	61,498,242	
標準財政規模(千円)	34,958,257	
財政力指数	0.57	
経常収支比率(%)	95.5	
健全化判断比率	実質赤字比率(%)	-
	連結実質赤字比率(%)	-
	実質公債費比率(%)	6.4
	将来負担比率(%)	34.7

修正医業収支の状況	
修正医業収支比率(%)	88.6
修正医業収支金額(千円)	4,838,709

損益計算書 (千円・%)				
区分	決算額	費用 医業収益	全国平均	類似平均
総収益	6,528,976			
1 経常収益	6,528,572			
(1) 医業収益	5,098,212			
入院収益	2,647,454			
外来収益	1,141,983			
診療収入計	3,789,437			
その他医業収益	1,308,775			
(うち他会計負担金)	259,503			
(2) 医業外収益	1,430,360			
(うち国・都道府県補助金)	7,408			
(うち他会計補助・負担金)	457,318			
(うち長期前受金戻入)	85,329			
(うち資本費繰入収益)	-			
(3) 特別利益	404			
(うち他会計繰入金)	-			
総費用	6,507,787			
2 経常費用	6,504,630			
(1) 医業費用	5,458,669			
職員給与費	3,636,025	71.3	56.0	59.3
材料費	655,040	12.8	24.1	19.3
(うち薬品費)	313,815	6.2	12.6	9.6
(うち薬品費以外の医薬材料費)	319,054	6.3	11.1	9.2
減価償却費	328,040	6.4	9.2	10.3
経費	819,455	16.1	23.2	27.6
(うち委託料)	444,953	8.7	11.3	12.3
研究研修費	16,938			
資産減耗費	3,171			
(2) 医業外費用	1,045,961			
(うち支払利息)	23,304	0.5	1.6	1.7
(3) 特別損失	3,157			
損益				
経常損益	23,942			
純損益	21,189			
累積欠損金	199,864			
経常収支比率	100.4		98.2	96.7
医業収支比率	93.4		88.3	85.5
他会計繰入金対経常収益比率	11.0		12.5	13.7
他会計繰入金対医業収益比率	14.1		14.6	16.4
他会計繰入金対総収益比率	11.0		12.5	14.0
実質収益対経常費用比率	89.3		86.0	83.4

備考：  
「類似平均」については類似区分(一般病院の500床以上、同400床以上500床未満、同300床以上400床未満、同200床以上300床未満、同100床以上200床未満、同50床以上100床未満、同50床未満、結核病院、精神科病院、建設中)に基づき算出している。

貸借対照表 (千円・%)	
区分	決算額
資産合計	20,605,096
1 固定資産	13,322,684
(1) 有形固定資産	13,050,764
(2) 無形固定資産	1,970
(3) 投資その他の資産	269,950
2 流動資産	7,282,412
(1) 現金及び預金	5,294,778
(2) 未収金及び未収収益	1,938,817
(3) 貸倒引当金( )	1,282
(4) 貯蔵品	46,034
3 繰延資産	-
負債合計	12,106,895
1 固定負債	7,620,443
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	3,878,174
(2) その他の企業債	-
(3) 再建債(特例債含む)	-
(4) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(5) その他の長期借入金	-
(6) 引当金	3,683,339
(7) リース債務	58,930
2 流動負債	2,944,526
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	535,901
(2) その他の企業債	-
(3) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(4) その他の長期借入金	-
(5) 引当金	959,661
(6) リース債務	7,389
(7) 一時借入金	-
(8) 未払金及び未払費用	1,382,245
(9) 前受金及び前受収益	-
3 繰延収益	1,541,926
(1) 長期前受金	2,664,660
(2) 長期前受金収益化累計額( )	1,122,734
資本合計	8,498,201
1 資本金	8,399,181
2 剰余金	99,020
(1) 資本金剰余金	212,465
(2) 利益剰余金	-113,445
負債・資本合計	20,605,096
不良債務	-
実質資金不足額	-
資本不足額(繰延収益控除後)( )	-
備考	
当該貸借対照表の数値は、事業単位(当該団体は1事業に経営している病院が2以上ある)の決算額である。	

他会計からの繰入状況(千円)		
区分	基準額	実繰入額
収益勘定繰入	576,409	716,821
資本勘定繰入	109,275	42,165
計	685,684	758,986

不良債務額・不良債務比率の過去3ヵ年推移		
年度	不良債務額(千円)	不良債務比率(%)
30年度	-	-
29年度	-	-
28年度	-	-

資金不足等の状況	
累積欠損金比率(%)	5.5
健全化法上の資金不足額(千円)	-
健全化法上の資金不足比率(%)	-
地財法上の資金不足額(千円)	-
地財法上の資金不足比率(%)	-

備考：  
・「不良債務額」、「不良債務比率」、「累積欠損金比率」は病院事業単位で算出し、「健全化法上の資金不足額」、「健全化法上の資金不足比率」、「地財法上の資金不足額」、「地財法上の資金不足比率」は特別会計単位で算出している。  
・設立団体の経常収支比率とは、地方公共団体の財政構造の弾力性を判断するための指標で、人件費、扶助費、公債費のように毎年度経常的に支出される経費(経常的経費)に充当された一般財源の額が、地方税、普通交付税を中心とする毎年度経常的に収入される一般財源(経常一般財源)、減収補填債特例分及び臨時財政対策債の合計額に占める割合をいう。

<b>病院事業決算状況</b> (30年度)	都道府県名	広島県
	市町村・組合名	福山市
	病院名	福山市民病院

施設及び業務概況等			
法適用区分	条例全部	特殊診療機能	ド透I未訓ガ
病院区分	一般病院	不採算地区病院	非該当
建物面積	49,620 m <sup>2</sup>	指定病院の状況	救臨が感災地輪
診療科数	27	看護配置	7:1
許可公営企業		経営形態	直営
DPC対象病院	対象	類似区分	500床以上

特殊診療機能欄 ド...人間ドック 透...人工透析 I...ICU・CCU 未...NICU・未熟児室 訓...運動機能訓練室 ガ...ガン(放射線)診療  
 指定病院の状況欄 救...救急告示病院 臨...臨床研修病院 が...がん診療連携拠点病院 感...感染症指定医療機関 へ...へき地区医療拠点病院 災...災害拠点病院  
 地...地域医療支援病院 特...特定機能病院 輪...病院群輪番制病院

病床利用率・平均在院日数 (%・日)				
区分	病床数	30年度	29年度	28年度
一般	500	83.6	87.0	87.4
療養	-	-	-	-
結核	-	-	-	-
精神	-	-	-	-
感染症	6	0.3	0.9	1.7
計	506	82.6	85.9	86.4
平均在院日数(一般病床のみ)		10.1	10.9	11.3

設立団体の状況		
人口(人)	464,811	
決算規模(千円)	165,925,591	
標準財政規模(千円)	101,600,797	
財政力指数	0.82	
経常収支比率(%)	85.2	
健全化判断比率	実質赤字比率(%)	-
	連結実質赤字比率(%)	-
	実質公債費比率(%)	1.4
	将来負担比率(%)	-

修正医業収支の状況	
修正医業収支比率(%)	95.8
修正医業収支金額(千円)	17,694,961

損益計算書 (千円・%)				
区分	決算額	費用 医業収益	全国平均	類似平均
総収益	19,610,338			
1 経常収益	19,483,487			
(1) 医業収益	18,048,246			
入院収益	12,204,306			
外来収益	5,252,665			
診療収入計	17,456,971			
その他医業収益	591,275			
(うち他会計負担金)	353,285			
(2) 医業外収益	1,435,241			
(うち国・都道府県補助金)	35,793			
(うち他会計補助・負担金)	453,041			
(うち長期前受金戻入)	700,293			
(うち資本費繰入収益)	-			
(3) 特別利益	126,851			
(うち他会計繰入金)	-			
総費用	19,724,525			
2 経常費用	19,446,388			
(1) 医業費用	18,471,851			
職員給与費	7,273,478	40.3	56.0	49.8
材料費	6,177,777	34.2	24.1	28.0
(うち薬品費)	2,913,408	16.1	12.6	14.8
(うち薬品費以外の医薬材料費)	3,182,985	17.6	11.1	12.8
減価償却費	1,565,501	8.7	9.2	8.3
経費	3,308,979	18.3	23.2	20.7
(うち委託料)	1,200,434	6.7	11.3	11.4
研究研修費	98,482			
資産減耗費	47,634			
(2) 医業外費用	974,537			
(うち支払利息)	206,464	1.1	1.6	1.4
(3) 特別損失	278,137			
損益				
経常損益	37,099			
純損益	-114,187			
累積欠損金	-			
経常収支比率	100.2		98.2	99.5
医業収支比率	97.7		88.3	92.8
他会計繰入金対経常収益比率	4.1		12.5	9.1
他会計繰入金対医業収益比率	4.5		14.6	10.3
他会計繰入金対総収益比率	4.1		12.5	9.0
実質収益対経常費用比率	96.0		86.0	90.4

備考：  
「類似平均」については類似区分(一般病院の500床以上、同400床以上500床未満、同300床以上400床未満、同200床以上300床未満、同100床以上200床未満、同50床以上100床未満、同50床未満、結核病院、精神科病院、建設中)に基づき算出している。

貸借対照表 (千円・%)	
区分	決算額
資産合計	26,111,291
1 固定資産	12,580,953
(1) 有形固定資産	12,462,396
(2) 無形固定資産	4,382
(3) 投資その他の資産	114,175
2 流動資産	13,530,338
(1) 現金及び預金	10,640,146
(2) 未収金及び未収収益	2,863,037
(3) 貸倒引当金( )	45,923
(4) 貯蔵品	57,175
3 繰延資産	-
負債合計	17,921,609
1 固定負債	13,975,332
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	11,502,736
(2) その他の企業債	-
(3) 再建債(特例債含む)	-
(4) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(5) その他の長期借入金	-
(6) 引当金	2,472,596
(7) リース債務	-
2 流動負債	2,670,763
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	932,673
(2) その他の企業債	-
(3) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(4) その他の長期借入金	-
(5) 引当金	350,791
(6) リース債務	-
(7) 一時借入金	-
(8) 未払金及び未払費用	1,319,868
(9) 前受金及び前受収益	-
3 繰延収益	1,275,514
(1) 長期前受金	11,962,732
(2) 長期前受金収益化累計額( )	10,687,218
資本合計	8,189,682
1 資本金	2,263,535
2 剰余金	5,926,147
(1) 資本剰余金	721,550
(2) 利益剰余金	5,204,597
負債・資本合計	26,111,291
不良債務	-
実質資金不足額	-
資本不足額( )	-
資本不足額(繰延収益控除後)( )	-
備考	

他会計からの繰入状況(千円)		
区分	基準額	実繰入額
収益勘定繰入	806,326	806,326
資本勘定繰入	604,249	604,249
計	1,410,575	1,410,575

不良債務額・不良債務比率の過去3ヵ年推移		
年度	不良債務額(千円)	不良債務比率(%)
30年度	-	-
29年度	-	-
28年度	-	-

資金不足等の状況	
累積欠損金比率(%)	-
健全化法上の資金不足額(千円)	-
健全化法上の資金不足比率(%)	-
地財法上の資金不足額(千円)	-
地財法上の資金不足比率(%)	-

備考：  
・「不良債務額」、「不良債務比率」、「累積欠損金比率」は病院事業単位で算出し、「健全化法上の資金不足額」、「健全化法上の資金不足比率」、「地財法上の資金不足額」、「地財法上の資金不足比率」は特別会計単位で算出している。  
・設立団体の経常収支比率とは、地方公共団体の財政構造の弾力性を判断するための指標で、人件費、扶助費、公債費のように毎年度経常的に支出される経費(経常的経費)に充当された一般財源の額が、地方税、普通交付税を中心とする毎年度経常的に収入される一般財源(経常一般財源)、減収補填債特例分及び臨時財政対策債の合計額に占める割合をいう。

<b>病院事業決算状況</b> <b>( 30 年度)</b>				都道府県名	広島県
				市町村・組合名	府中市
				病院名	府中市立湯が丘病院
施設及び業務概況等					
法適用区分	当然財務	特殊診療機能			
病院区分	精神科病院	不採算地区病院	非該当		
建物面積	8,765 m <sup>2</sup>	指定病院の状況	臨		
診療科数	1	看護配置	15:1		
許可公営企業		経営形態	直営		
DPC対象病院	-	類似区分	精神病院		

特殊診療機能欄 ド...人間ドック 透...人工透析 I...ICU・CCU 未...NICU・未熟児室 訓...運動機能訓練室 ガ...ガン（放射線）診療  
 指定病院の状況欄 救...救急告示病院 臨...臨床研修病院 が...がん診療連携拠点病院 感...感染症指定医療機関 へ...へき地区医療拠点病院 災...災害拠点病院  
 地...地域医療支援病院 特...特定機能病院 輪...病院群輪番制病院

病床利用率・平均在院日数（%・日）				
区分	病床数	30年度	29年度	28年度
一般	-	-	-	-
療養	-	-	-	-
結核	-	-	-	-
精神	308	71.6	74.3	74.7
感染症	-	-	-	-
計	308	71.6	74.3	74.7
平均在院日数（一般病床のみ）				
		-	-	-

設立団体の状況		
人口（人）	40,069	
決算規模（千円）	19,529,370	
標準財政規模（千円）	11,671,170	
財政力指数	0.47	
経常収支比率（%）	96.0	
健全化判断比率	実質赤字比率（%）	-
	連結実質赤字比率（%）	-
	実質公債費比率（%）	9.2
	将来負担比率（%）	69.2

修正医業収支の状況	
修正医業収支比率（%）	93.5
修正医業収支金額（千円）	1,174,202

損益計算書（千円・%）				
区分	決算額	費用 医業収益	全国平均	類似平均
総収益	1,319,217			
1 経常収益	1,319,217			
(1) 医業収益	1,174,202			
入院収益	1,100,497			
外来収益	53,712			
診療収入計	1,154,209			
その他医業収益	19,993			
(うち他会計負担金)	-			
(2) 医業外収益	145,015			
(うち国・都道府県補助金)	-			
(うち他会計補助・負担金)	117,089			
(うち長期前受金戻入)	15,165			
(うち資本費繰入収益)	-			
(3) 特別利益	-			
(うち他会計繰入金)	-			
総費用	1,301,855			
2 経常費用	1,301,855			
(1) 医業費用	1,255,809			
職員給与費	944,946	80.5	56.0	96.0
材料費	50,528	4.3	24.1	8.6
(うち薬品費)	40,173	3.4	12.6	6.2
(うち薬品費以外の医薬材料費)	10,276	0.9	11.1	1.0
減価償却費	65,286	5.6	9.2	12.5
経費	193,295	16.5	23.2	34.0
(うち委託料)	121,893	10.4	11.3	16.5
研究研修費	1,553			
資産減耗費	201			
(2) 医業外費用	46,046			
(うち支払利息)	13,548	1.2	1.6	3.2
(3) 特別損失	-			
損益				
経常損益	17,362			
純損益	17,362			
累積欠損金	210,677			
経常収支比率	101.3		98.2	100.0
医業収支比率	93.5		88.3	65.9
他会計繰入金対経常収益比率	8.9		12.5	34.0
他会計繰入金対医業収益比率	10.0		14.6	53.9
他会計繰入金対総収益比率	8.9		12.5	33.9
実質収益対経常費用比率	92.3		86.0	66.0

備考：  
「類似平均」については類似区分（一般病院の500床以上、同400床以上500床未満、同300床以上400床未満、同200床以上300床未満、同100床以上200床未満、同50床以上100床未満、同50床未満、結核病院、精神科病院、建設中）に基づき算出している。

貸借対照表（千円・%）	
区分	決算額
資産合計	3,101,137
1 固定資産	868,815
(1) 有形固定資産	824,830
(2) 無形固定資産	37,016
(3) 投資その他の資産	6,969
2 流動資産	2,232,322
(1) 現金及び預金	2,043,540
(2) 未収金及び未収収益	191,733
(3) 貸倒引当金（ ）	5,151
(4) 貯蔵品	2,068
3 繰延資産	-
負債合計	2,229,494
1 固定負債	1,777,022
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	1,176,648
(2) その他の企業債	-
(3) 再建債（特例債含む）	-
(4) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(5) その他の長期借入金	-
(6) 引当金	600,374
(7) リース債務	-
2 流動負債	299,931
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	173,888
(2) その他の企業債	-
(3) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(4) その他の長期借入金	-
(5) 引当金	56,669
(6) リース債務	-
(7) 一時借入金	-
(8) 未払金及び未払費用	65,880
(9) 前受金及び前受収益	1
3 繰延収益	152,541
(1) 長期前受金	355,983
(2) 長期前受金収益化累計額（ ）	203,442
資本合計	871,643
1 資本金	1,733,491
2 剰余金	-861,848
(1) 資本金剰余金	-
(2) 利益剰余金	-861,848
負債・資本合計	3,101,137
不良債務	-
実質資金不足額	-
資本不足額（繰延収益控除後）（ ）	-
備考	
当該貸借対照表の数値は、事業単位（当該団体は1事業に経営している病院が2以上ある）の決算額である。	

他会計からの繰入状況（千円）		
区分	基準額	実繰入額
収益勘定繰入	111,565	117,089
資本勘定繰入	43,338	43,338
計	154,903	160,427

不良債務額・不良債務比率の過去3ヵ年推移		
年度	不良債務額（千円）	不良債務比率（%）
30年度	-	-
29年度	-	-
28年度	-	-

資金不足等の状況	
累積欠損金比率（%）	109.5
健全化法上の資金不足額（千円）	-
健全化法上の資金不足比率（%）	-
地財法上の資金不足額（千円）	-
地財法上の資金不足比率（%）	-

備考：  
・「不良債務額」、「不良債務比率」、「累積欠損金比率」は病院事業単位で算出し、「健全化法上の資金不足額」、「健全化法上の資金不足比率」、「地財法上の資金不足額」、「地財法上の資金不足比率」は特別会計単位で算出している。  
・設立団体の経常収支比率とは、地方公共団体の財政構造の弾力性を判断するための指標で、人件費、扶助費、公債費のように毎年度経常的に支出される経費（経常的経費）に充当された一般財源の額が、地方税、普通交付税を中心とする毎年度経常的に収入される一般財源（経常一般財源）、減収補填債特例分及び臨時財政対策債の合計額に占める割合をいう。

<b>病院事業決算状況</b> (30年度)	都道府県名	広島県
	市町村・組合名	府中市
	病院名	想定企業会計

特殊診療機能欄 ド...人間ドック 透...人工透析 I...ICU・CCU 未...NICU・未熟児室 訓...運動機能訓練室 ガ...ガン(放射線)診療  
 指定病院の状況欄 救...救急告示病院 臨...臨床研修病院 が...がん診療連携拠点病院 感...感染症指定医療機関 へ...へき地区医療拠点病院 災...災害拠点病院  
 地...地域医療支援病院 特...特定機能病院 輪...病院群輪番制病院

病床利用率・平均在院日数 (％・日)				
区分	病床数	30年度	29年度	28年度
一般	-	-	-	-
療養	-	-	-	-
結核	-	-	-	-
精神	-	-	-	-
感染症	-	-	-	-
計	-	-	-	-
平均在院日数(一般病床のみ)		-	-	-

設立団体の状況		
人口(人)	40,069	
決算規模(千円)	19,529,370	
標準財政規模(千円)	11,671,170	
財政力指数	0.47	
経常収支比率(%)	96.0	
健全化判断比率	実質赤字比率(%)	-
	連結実質赤字比率(%)	-
	実質公債費比率(%)	9.2
	将来負担比率(%)	69.2

施設及び業務概況等			
法適用区分		特殊診療機能	
病院区分		不採算地区病院	
建物面積	- m <sup>2</sup>	指定病院の状況	
診療科数	-	看護配置	
許可公営企業		経営形態	直営
DPC対象病院	-	類似区分	50床以上～100床未満

修正医業収支の状況	
修正医業収支比率(%)	-
修正医業収支金額(千円)	-

損益計算書 (千円・%)				
区分	決算額	費用 医業収益	全国平均	類似平均
総収益	22,789			
1 経常収益	22,789			
(1) 医業収益	-			
入院収益	-			
外来収益	-			
診療収入計	-			
その他医業収益	-			
(うち他会計負担金)	-			
(2) 医業外収益	22,789			
(うち国・都道府県補助金)	-			
(うち他会計補助・負担金)	-			
(うち長期前受金戻入)	-			
(うち資本費繰入収益)	-			
(3) 特別利益	-			
(うち他会計繰入金)	-			
総費用	22,789			
2 経常費用	22,789			
(1) 医業費用	-			
職員給与費	-	-	56.0	71.8
材料費	-	-	24.1	16.5
(うち薬品費)	-	-	12.6	10.1
(うち薬品費以外の医薬材料費)	-	-	11.1	5.6
減価償却費	-	-	9.2	12.2
経費	-	-	23.2	31.2
(うち委託料)	-	-	11.3	12.3
研究研修費	-	-		
資産減耗費	-	-		
(2) 医業外費用	22,789			
(うち支払利息)	22,789	-	1.6	1.9
(3) 特別損失	-			
損益				
経常損益	-			
純損益	-			
累積欠損金	1,075,165			
経常収支比率	100.0		98.2	97.1
医業収支比率	-		88.3	75.5
他会計繰入金対経常収益比率	-		12.5	22.9
他会計繰入金対医業収益比率	-		14.6	31.3
他会計繰入金対総収益比率	-		12.5	22.9
実質収益対経常費用比率	100.0		86.0	74.9

貸借対照表 (千円・%)	
区分	決算額
資産合計	-
1 固定資産	-
(1) 有形固定資産	-
(2) 無形固定資産	-
(3) 投資その他の資産	-
2 流動資産	-
(1) 現金及び預金	-
(2) 未収金及び未収収益	-
(3) 貸倒引当金( )	-
(4) 貯蔵品	-
3 繰延資産	-
負債合計	-
1 固定負債	-
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	-
(2) その他の企業債	-
(3) 再建債(特例債含む)	-
(4) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(5) その他の長期借入金	-
(6) 引当金	-
(7) リース債務	-
2 流動負債	-
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	-
(2) その他の企業債	-
(3) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(4) その他の長期借入金	-
(5) 引当金	-
(6) リース債務	-
(7) 一時借入金	-
(8) 未払金及び未払費用	-
(9) 前受金及び前受収益	-
3 繰延収益	-
(1) 長期前受金	-
(2) 長期前受金収益化累計額( )	-
資本合計	-
1 資本金	-
2 剰余金	-
(1) 資本剰余金	-
(2) 利益剰余金	-
負債・資本合計	-
不良債務	-
実質資金不足額	-
資金不足額( )	-
資本不足額(繰延収益控除後)( )	-
備考	

他会計からの繰入状況(千円)		
区分	基準額	実繰入額
収益勘定繰入	-	-
資本勘定繰入	-	-
計	-	-

不良債務額・不良債務比率の過去3ヵ年推移		
年度	不良債務額(千円)	不良債務比率(%)
30年度	-	-
29年度	-	-
28年度	-	-

資金不足等の状況	
累積欠損金比率(%)	109.5
健全化法上の資金不足額(千円)	-
健全化法上の資金不足比率(%)	-
地財法上の資金不足額(千円)	-
地財法上の資金不足比率(%)	-

備考：  
 ・「不良債務額」、「不良債務比率」、「累積欠損金比率」は病院事業単位で算出し、「健全化法上の資金不足額」、「健全化法上の資金不足比率」、「地財法上の資金不足額」、「地財法上の資金不足比率」は特別会計単位で算出している。  
 ・設立団体の経常収支比率とは、地方公共団体の財政構造の弾力性を判断するための指標で、人件費、扶助費、公債費のように毎年度経常的に支出される経費(経常的経費)に充当された一般財源の額が、地方税、普通交付税を中心とする毎年度経常的に収入される一般財源(経常一般財源)、減収補填債特例分及び臨時財政対策債の合計額に占める割合をいう。

備考：  
 「類似平均」については類似区分(一般病院の500床以上、同400床以上500床未満、同300床以上400床未満、同200床以上300床未満、同100床以上200床未満、同50床以上100床未満、同50床未満、結核病院、精神科病院、建設中)に基づき算出している。

<b>病院事業決算状況</b> (30年度)	都道府県名	広島県
	市町村・組合名	三次市
	病院名	市立三次中央病院

特殊診療機能欄 ド...人間ドック 透...人工透析 I...ICU・CCU 未...NICU・未熟児室 訓...運動機能訓練室 ガ...ガン(放射線)診療  
 指定病院の状況欄 救...救急告示病院 臨...臨床研修病院 が...がん診療連携拠点病院 感...感染症指定医療機関 へ...へき地区医療拠点病院 災...災害拠点病院  
 地...地域医療支援病院 特...特定機能病院 輪...病院群輪番制病院

病床利用率・平均在院日数 (%・日)				
区分	病床数	30年度	29年度	28年度
一般	350	78.0	80.9	79.4
療養	-	-	-	-
結核	-	-	-	-
精神	-	-	-	-
感染症	-	-	-	-
計	350	78.0	80.9	79.4
平均在院日数(一般病床のみ)		13.5	14.4	12.7

設立団体の状況		
人口(人)	53,615	
決算規模(千円)	35,923,650	
標準財政規模(千円)	22,088,315	
財政力指数	0.33	
経常収支比率(%)	96.7	
健全化判断比率	実質赤字比率(%)	-
	連結実質赤字比率(%)	-
	実質公債費比率(%)	7.0
	将来負担比率(%)	51.9

施設及び業務概況等			
法適用区分	当然財務	特殊診療機能	ド透I未訓ガ
病院区分	一般病院	不採算地区病院	非該当
建物面積	22,851 m <sup>2</sup>	指定病院の状況	救臨がへ災地輪
診療科数	23	看護配置	10:1
許可公営企業		経営形態	直営
DPC対象病院	対象	類似区分	300床以上~400床未満

修正医業収支の状況	
修正医業収支比率(%)	97.3
修正医業収支金額(千円)	8,037,143

損益計算書 (千円・%)				
区分	決算額	費用 医業収益	全国平均	類似平均
総収益	8,783,617			
1 経常収益	8,763,628			
(1) 医業収益	8,078,363			
入院収益	4,973,400			
外来収益	2,724,172			
診療収入計	7,697,572			
その他医業収益	380,791			
(うち他会計負担金)	41,220			
(2) 医業外収益	685,265			
(うち国・都道府県補助金)	65,600			
(うち他会計補助・負担金)	327,108			
(うち長期前受金戻入)	214,400			
(うち資本費繰入収益)	-			
(3) 特別利益	19,989			
(うち他会計繰入金)	-			
総費用	8,693,867			
2 経常費用	8,639,007			
(1) 医業費用	8,257,320			
職員給与費	4,279,130	53.0	56.0	57.1
材料費	2,152,688	26.6	24.1	23.9
(うち薬品費)	1,261,101	15.6	12.6	12.1
(うち薬品費以外の医薬材料費)	815,436	10.1	11.1	11.4
減価償却費	543,693	6.7	9.2	9.5
経費	1,225,370	15.2	23.2	22.0
(うち委託料)	795,434	9.8	11.3	10.8
研究研修費	52,421			
資産減耗費	4,018			
(2) 医業外費用	381,687			
(うち支払利息)	95,280	1.2	1.6	1.6
(3) 特別損失	54,860			
損益				
経常損益	124,621			
純損益	89,750			
累積欠損金	-			
経常収支比率	101.4		98.2	96.7
医業収支比率	97.8		88.3	88.4
他会計繰入金対経常収益比率	4.2		12.5	11.7
他会計繰入金対医業収益比率	4.6		14.6	13.5
他会計繰入金対総収益比率	4.2		12.5	11.7
実質収益対経常費用比率	97.2		86.0	85.4

貸借対照表 (千円・%)	
区分	決算額
資産合計	14,297,653
1 固定資産	10,286,416
(1) 有形固定資産	6,273,422
(2) 無形固定資産	-
(3) 投資その他の資産	4,012,994
2 流動資産	4,011,237
(1) 現金及び預金	2,604,924
(2) 未収金及び未収収益	1,379,315
(3) 貸倒引当金( )	9,028
(4) 貯蔵品	35,015
3 繰延資産	-
負債合計	7,549,838
1 固定負債	4,493,363
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	2,671,448
(2) その他の企業債	-
(3) 再建債(特例債含む)	-
(4) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(5) その他の長期借入金	-
(6) 引当金	1,815,726
(7) リース債務	6,189
2 流動負債	1,536,633
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	565,111
(2) その他の企業債	-
(3) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(4) その他の長期借入金	-
(5) 引当金	248,142
(6) リース債務	4,778
(7) 一時借入金	-
(8) 未払金及び未払費用	705,573
(9) 前受金及び前受収益	-
3 繰延収益	1,519,842
(1) 長期前受金	3,721,029
(2) 長期前受金収益化累計額( )	2,201,187
資本合計	6,747,815
1 資本金	4,784,176
2 剰余金	1,963,639
(1) 資本剰余金	130,337
(2) 利益剰余金	1,833,302
負債・資本合計	14,297,653
不良債務	-
実質資金不足額	-
資本不足額( )	-
資本不足額(繰延収益控除後)( )	-
備考	

他会計からの繰入状況(千円)		
区分	基準額	実繰入額
収益勘定繰入	585,662	368,328
資本勘定繰入	422,141	-
計	1,007,803	368,328

不良債務額・不良債務比率の過去3ヵ年推移		
年度	不良債務額(千円)	不良債務比率(%)
30年度	-	-
29年度	-	-
28年度	-	-

資金不足等の状況	
累積欠損金比率(%)	-
健全化法上の資金不足額(千円)	-
健全化法上の資金不足比率(%)	-
地財法上の資金不足額(千円)	-
地財法上の資金不足比率(%)	-

備考：  
 ・「不良債務額」、「不良債務比率」、「累積欠損金比率」は病院事業単位で算出し、「健全化法上の資金不足額」、「健全化法上の資金不足比率」、「地財法上の資金不足額」、「地財法上の資金不足比率」は特別会計単位で算出している。  
 ・設立団体の経常収支比率とは、地方公共団体の財政構造の弾力性を判断するための指標で、人件費、扶助費、公債費のように毎年度経常的に支出される経費(経常的経費)に充当された一般財源の額が、地方税、普通交付税を中心とする毎年度経常的に収入される一般財源(経常一般財源)、減収補填債特例分及び臨時財政対策債の合計額に占める割合をいう。

備考：  
 「類似平均」については類似区分(一般病院の500床以上、同400床以上500床未満、同300床以上400床未満、同200床以上300床未満、同100床以上200床未満、同50床以上100床未満、同50床未満、結核病院、精神科病院、建設中)に基づき算出している。

<b>病院事業決算状況</b> (30年度)	都道府県名	広島県
	市町村・組合名	庄原市
	病院名	庄原市立西城市民病院

施設及び業務概況等			
法適用区分	条例全部	特殊診療機能	ド 訓
病院区分	一般病院	不採算地区病院	第1種該当
建物面積	4,099 m <sup>2</sup>	指定病院の状況	救臨 へ 輪
診療科数	9	看護配置	10:1
許可公営企業		経営形態	直営
DPC対象病院	-	類似区分	50床以上~100床未満

特殊診療機能欄 ド...人間ドック 透...人工透析 I...ICU・CCU 未...NICU・未熟児室 訓...運動機能訓練室 ガ...ガン(放射線)診療  
 指定病院の状況欄 救...救急告示病院 臨...臨床研修病院 が...がん診療連携拠点病院 感...感染症指定医療機関 へ...へき地区医療拠点病院 災...災害拠点病院  
 地...地域医療支援病院 特...特定機能病院 輪...病院群輪番制病院

病床利用率・平均在院日数 (%・日)				
区分	病床数	30年度	29年度	28年度
一般	54	79.5	81.7	81.0
療養	-	-	-	-
結核	-	-	-	-
精神	-	-	-	-
感染症	-	-	-	-
計	54	79.5	81.7	81.0
平均在院日数(一般病床のみ)		18.3	19.7	17.3

設立団体の状況		
人口(人)	37,000	
決算規模(千円)	30,693,009	
標準財政規模(千円)	17,562,653	
財政力指数	0.26	
経常収支比率(%)	98.2	
健全化判断比率	実質赤字比率(%)	-
	連結実質赤字比率(%)	-
	実質公債費比率(%)	14.4
	将来負担比率(%)	120.7

修正医業収支の状況	
修正医業収支比率(%)	71.4
修正医業収支金額(千円)	895,194

損益計算書 (千円・%)				
区分	決算額	費用 医業収益	全国平均	類似平均
総収益	1,357,896			
1 経常収益	1,357,896			
(1) 医業収益	944,123			
入院収益	420,673			
外来収益	429,014			
診療収入計	849,687			
その他医業収益	94,436			
(うち他会計負担金)	48,929			
(2) 医業外収益	413,773			
(うち国・都道府県補助金)	7,136			
(うち他会計補助・負担金)	141,634			
(うち長期前受金戻入)	17,181			
(うち資本費繰入収益)	-			
(3) 特別利益	-			
(うち他会計繰入金)	-			
総費用	1,285,186			
2 経常費用	1,285,186			
(1) 医業費用	1,252,978			
職員給与費	782,467	82.9	56.0	71.8
材料費	87,523	9.3	24.1	16.5
(うち薬品費)	48,824	5.2	12.6	10.1
(うち薬品費以外の医薬材料費)	38,699	4.1	11.1	5.6
減価償却費	66,643	7.1	9.2	12.2
経費	314,814	33.3	23.2	31.2
(うち委託料)	127,176	13.5	11.3	12.3
研究研修費	1,350			
資産減耗費	181			
(2) 医業外費用	32,208			
(うち支払利息)	7,767	0.8	1.6	1.9
(3) 特別損失	-			
損益				
経常損益	72,710			
純損益	72,710			
累積欠損金	679,418			
経常収支比率	105.7		98.2	97.1
医業収支比率	75.4		88.3	75.5
他会計繰入金対経常収益比率	14.0		12.5	22.9
他会計繰入金対医業収益比率	20.2		14.6	31.3
他会計繰入金対総収益比率	14.0		12.5	22.9
実質収益対経常費用比率	90.8		86.0	74.9

備考：  
「類似平均」については類似区分(一般病院の500床以上、同400床以上500床未満、同300床以上400床未満、同200床以上300床未満、同100床以上200床未満、同50床以上100床未満、同50床未満、結核病院、精神科病院、建設中)に基づき算出している。

貸借対照表 (千円・%)	
区分	決算額
資産合計	1,429,397
1 固定資産	862,325
(1) 有形固定資産	842,195
(2) 無形固定資産	20,130
(3) 投資その他の資産	-
2 流動資産	567,072
(1) 現金及び預金	365,974
(2) 未収金及び未収収益	200,921
(3) 貸倒引当金( )	900
(4) 貯蔵品	1,077
3 繰延資産	-
負債合計	597,788
1 固定負債	262,960
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	262,960
(2) その他の企業債	-
(3) 再建債(特例債含む)	-
(4) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(5) その他の長期借入金	-
(6) 引当金	-
(7) リース債務	-
2 流動負債	149,691
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	61,453
(2) その他の企業債	-
(3) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(4) その他の長期借入金	-
(5) 引当金	57,760
(6) リース債務	52
(7) 一時借入金	-
(8) 未払金及び未払費用	23,256
(9) 前受金及び前受収益	-
3 繰延収益	185,137
(1) 長期前受金	443,359
(2) 長期前受金収益化累計額( )	258,222
資本合計	831,609
1 資本金	1,475,065
2 剰余金	-643,456
(1) 資本金剰余金	35,962
(2) 利益剰余金	-679,418
負債・資本合計	1,429,397
不良債務	-
実質資金不足額	-
資金不足額( )	-
資本不足額(繰延収益控除後)( )	-
備考	

他会計からの繰入状況(千円)		
区分	基準額	実繰入額
収益勘定繰入	177,947	190,563
資本勘定繰入	35,699	35,685
計	213,646	226,248

不良債務額・不良債務比率の過去3ヵ年推移		
年度	不良債務額(千円)	不良債務比率(%)
30年度	-	-
29年度	-	-
28年度	-	-

資金不足等の状況	
累積欠損金比率(%)	72.0
健全化法上の資金不足額(千円)	-
健全化法上の資金不足比率(%)	-
地財法上の資金不足額(千円)	-
地財法上の資金不足比率(%)	-

備考：  
・「不良債務額」、「不良債務比率」、「累積欠損金比率」は病院事業単位で算出し、「健全化法上の資金不足額」、「健全化法上の資金不足比率」、「地財法上の資金不足額」、「地財法上の資金不足比率」は特別会計単位で算出している。  
・設立団体の経常収支比率とは、地方公共団体の財政構造の弾力性を判断するための指標で、人件費、扶助費、公債費のように毎年度経常的に支出される経費(経常的経費)に充当された一般財源の額が、地方税、普通交付税を中心とする毎年度経常的に収入される一般財源(経常一般財源)、減収補填債特例分及び臨時財政対策債の合計額に占める割合をいう。



<b>病院事業決算状況</b> (30年度)	都道府県名	広島県
	市町村・組合名	安芸太田町
	病院名	安芸太田病院

特殊診療機能欄 ド...人間ドック 透...人工透析 I...ICU・CCU 未...NICU・未熟児室 訓...運動機能訓練室 ガ...ガン(放射線)診療  
 指定病院の状況欄 救...救急告示病院 臨...臨床研修病院 が...がん診療連携拠点病院 感...感染症指定医療機関 へ...へき地医療拠点病院 災...災害拠点病院  
 地...地域医療支援病院 特...特定機能病院 輪...病院群輪番制病院

病床利用率・平均在院日数 (%・日)				
区分	病床数	30年度	29年度	28年度
一般	53	83.7	86.2	85.9
療養	52	80.8	79.2	84.1
結核	-	-	-	-
精神	44	51.1	43.3	57.2
感染症	-	-	-	-
計	149	73.0	71.1	76.8
平均在院日数(一般病床のみ)		18.1	19.1	20.1

設立団体の状況		
人口(人)	6,472	
決算規模(千円)	7,157,151	
標準財政規模(千円)	4,354,746	
財政力指数	0.20	
経常収支比率(%)	103.3	
健全化判断比率	実質赤字比率(%)	-
	連結実質赤字比率(%)	-
	実質公債費比率(%)	10.3
	将来負担比率(%)	65.5

施設及び業務概況等			
法適用区分	条例全部	特殊診療機能	ド透訓
病院区分	一般病院	不採算地区病院	第1種該当
建物面積	10,979 m <sup>2</sup>	指定病院の状況	救臨へ
診療科数	12	看護配置	10:1
許可公営企業		経営形態	直営
DPC対象病院	-	類似区分	100床以上~200床未満

修正医業収支の状況	
修正医業収支比率(%)	77.2
修正医業収支金額(千円)	1,447,365

損益計算書 (千円・%)				
区分	決算額	費用 医業収益	全国平均	類似平均
総収益	1,947,179			
1 経常収益	1,945,891			
(1) 医業収益	1,523,027			
入院収益	907,341			
外来収益	454,278			
診療収入計	1,361,619			
その他医業収益	161,408			
(うち他会計負担金)	75,662			
(2) 医業外収益	422,864			
(うち国・都道府県補助金)	13,997			
(うち他会計補助・負担金)	298,338			
(うち長期前受金戻入)	95,402			
(うち資本費繰入収益)	-			
(3) 特別利益	1,288			
(うち他会計繰入金)	-			
総費用	1,937,589			
2 経常費用	1,929,906			
(1) 医業費用	1,875,765			
職員給与費	1,139,286	74.8	56.0	61.8
材料費	202,036	13.3	24.1	17.7
(うち薬品費)	81,474	5.3	12.6	8.9
(うち薬品費以外の医薬材料費)	93,113	6.1	11.1	8.2
減価償却費	206,123	13.5	9.2	10.4
経費	319,616	21.0	23.2	29.9
(うち委託料)	126,635	8.3	11.3	12.9
研究研修費	4,927			
資産減耗費	3,777			
(2) 医業外費用	54,141			
(うち支払利息)	8,709	0.6	1.6	1.7
(3) 特別損失	7,683			
損益				
経常損益	15,985			
純損益	9,590			
累積欠損金	-			
経常収支比率	100.8		98.2	96.7
医業収支比率	81.2		88.3	83.0
他会計繰入金対経常収益比率	19.2		12.5	16.6
他会計繰入金対医業収益比率	24.6		14.6	20.5
他会計繰入金対総収益比率	19.2		12.5	16.8
実質収益対経常費用比率	81.4		86.0	80.7

貸借対照表 (千円・%)	
区分	決算額
資産合計	3,532,298
1 固定資産	2,604,917
(1) 有形固定資産	2,541,385
(2) 無形固定資産	894
(3) 投資その他の資産	62,638
2 流動資産	927,381
(1) 現金及び預金	648,752
(2) 未収金及び未収収益	264,091
(3) 貸倒引当金( )	97
(4) 貯蔵品	12,541
3 繰延資産	-
負債合計	2,074,012
1 固定負債	630,300
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	630,300
(2) その他の企業債	-
(3) 再建債(特例債含む)	-
(4) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(5) その他の長期借入金	-
(6) 引当金	-
(7) リース債務	-
2 流動負債	221,749
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	62,872
(2) その他の企業債	-
(3) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(4) その他の長期借入金	-
(5) 引当金	63,873
(6) リース債務	-
(7) 一時借入金	-
(8) 未払金及び未払費用	92,934
(9) 前受金及び前受収益	-
3 繰延収益	1,221,963
(1) 長期前受金	1,455,335
(2) 長期前受金収益化累計額( )	233,372
資本合計	1,458,286
1 資本金	1,334,906
2 剰余金	123,380
(1) 資本剰余金	46,690
(2) 利益剰余金	76,690
負債・資本合計	3,532,298
不良債務	-
実質資金不足額	-
資金不足額( )	-
資本不足額(繰延収益控除後)( )	-
備考	

他会計からの繰入状況(千円)		
区分	基準額	実繰入額
収益勘定繰入	374,000	374,000
資本勘定繰入	76,027	6,000
計	450,027	380,000

不良債務額・不良債務比率の過去3ヵ年推移		
年度	不良債務額(千円)	不良債務比率(%)
30年度	-	-
29年度	-	-
28年度	-	-

資金不足等の状況	
累積欠損金比率(%)	-
健全化法上の資金不足額(千円)	-
健全化法上の資金不足比率(%)	-
地財法上の資金不足額(千円)	-
地財法上の資金不足比率(%)	-

備考：  
 ・「不良債務額」、「不良債務比率」、「累積欠損金比率」は病院事業単位で算出し、「健全化法上の資金不足額」、「健全化法上の資金不足比率」、「地財法上の資金不足額」、「地財法上の資金不足比率」は特別会計単位で算出している。  
 ・設立団体の経常収支比率とは、地方公共団体の財政構造の弾力性を判断するための指標で、人件費、扶助費、公債費のように毎年度経常的に支出される経費(経常的経費)に充当された一般財源の額が、地方税、普通交付税を中心とする毎年度経常的に収入される一般財源(経常一般財源)、減収補填債特例分及び臨時財政対策債の合計額に占める割合をいう。

備考：  
 「類似平均」については類似区分(一般病院の500床以上、同400床以上500床未満、同300床以上400床未満、同200床以上300床未満、同100床以上200床未満、同50床以上100床未満、同50床未満、結核病院、精神科病院、建設中)に基づき算出している。

<b>病院事業決算状況</b> (30年度)	都道府県名	広島県
	市町村・組合名	北広島町
	病院名	北広島町豊平病院

特殊診療機能欄 ド...人間ドック 透...人工透析 I...ICU・CCU 未...NICU・未熟児室 訓...運動機能訓練室 ガ...ガン(放射線)診療  
 指定病院の状況欄 救...救急告示病院 臨...臨床研修病院 が...がん診療連携拠点病院 感...感染症指定医療機関 へ...へき地区医療拠点病院 災...災害拠点病院  
 地...地域医療支援病院 特...特定機能病院 輪...病院群輪番制病院

病床利用率・平均在院日数 (%・日)				
区分	病床数	30年度	29年度	28年度
一般	44	51.1	65.2	58.9
療養	-	-	-	-
結核	-	-	-	-
精神	-	-	-	-
感染症	-	-	-	-
計	44	51.1	65.2	58.9
平均在院日数(一般病床のみ)		20.4	20.5	23.4

設立団体の状況		
人口(人)	18,918	
決算規模(千円)	16,017,866	
標準財政規模(千円)	9,350,170	
財政力指数	0.35	
経常収支比率(%)	89.6	
健全化判断比率	実質赤字比率(%)	-
	連結実質赤字比率(%)	-
	実質公債費比率(%)	15.2
	将来負担比率(%)	87.8

施設及び業務概況等			
法適用区分	当然財務	特殊診療機能	
病院区分	一般病院	不採算地区病院	第2種該当
建物面積	3,529 m <sup>2</sup>	指定病院の状況	
診療科数	6	看護配置	13:1
許可公営企業		経営形態	指定管理者(利用料金制)
DPC対象病院	-	類似区分	50床未満

修正医業収支の状況	
修正医業収支比率(%)	0.2
修正医業収支金額(千円)	788

損益計算書 (千円・%)				
区分	決算額	費用 医業収益	全国平均	類似平均
総収益	406,211			
1 経常収益	406,194			
(1) 医業収益	788			
入院収益	-			
外来収益	-			
診療収入計	-			
その他医業収益	788			
(うち他会計負担金)	-			
(2) 医業外収益	405,406			
(うち国・都道府県補助金)	-			
(うち他会計補助・負担金)	374,664			
(うち長期前受金戻入)	30,454			
(うち資本費繰入収益)	-			
(3) 特別利益	17			
(うち他会計繰入金)	-			
総費用	426,850			
2 経常費用	425,817			
(1) 医業費用	411,743			
職員給与費	-	-	56.0	81.3
材料費	-	-	24.1	14.4
(うち薬品費)	-	-	12.6	8.6
(うち薬品費以外の医薬材料費)	-	-	11.1	5.1
減価償却費	47,005	5965.1	9.2	13.4
経費	364,738	46286.5	23.2	47.5
(うち委託料)	5,852	742.6	11.3	20.0
研究研修費	-	-		
資産減耗費	-	-		
(2) 医業外費用	14,074			
(うち支払利息)	13,049	1656.0	1.6	1.4
(3) 特別損失	1,033			
損益				
経常損益	-19,623			
純損益	-20,639			
累積欠損金	188,190			
経常収支比率	95.4		98.2	96.3
医業収支比率	0.2		88.3	63.4
他会計繰入金対経常収益比率	92.2		12.5	32.8
他会計繰入金対医業収益比率	47546.2		14.6	53.9
他会計繰入金対総収益比率	92.2		12.5	33.3
実質収益対経常費用比率	7.4		86.0	64.8

貸借対照表 (千円・%)	
区分	決算額
資産合計	833,971
1 固定資産	794,234
(1) 有形固定資産	794,234
(2) 無形固定資産	-
(3) 投資その他の資産	-
2 流動資産	39,737
(1) 現金及び預金	39,737
(2) 未収金及び未収収益	-
(3) 貸倒引当金( )	-
(4) 貯蔵品	-
3 繰延資産	-
負債合計	799,761
1 固定負債	632,270
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	632,270
(2) その他の企業債	-
(3) 再建債(特例債含む)	-
(4) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(5) その他の長期借入金	-
(6) 引当金	-
(7) リース債務	-
2 流動負債	51,596
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	51,596
(2) その他の企業債	-
(3) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(4) その他の長期借入金	-
(5) 引当金	-
(6) リース債務	-
(7) 一時借入金	-
(8) 未払金及び未払費用	-
(9) 前受金及び前受収益	-
3 繰延収益	115,895
(1) 長期前受金	434,746
(2) 長期前受金収益化累計額( )	318,851
資本合計	34,210
1 資本金	82,467
2 剰余金	-48,257
(1) 資本金剰余金	139,933
(2) 利益剰余金	-188,190
負債・資本合計	833,971
不良債務	-
実質資金不足額	-
資金不足額( )	-
資本不足額(繰延収益控除後)( )	-
備考	

他会計からの繰入状況(千円)		
区分	基準額	実繰入額
収益勘定繰入	370,312	374,664
資本勘定繰入	37,518	58,138
計	407,830	432,802

不良債務額・不良債務比率の過去3ヵ年推移		
年度	不良債務額(千円)	不良債務比率(%)
30年度	-	-
29年度	-	-
28年度	-	-

資金不足等の状況	
累積欠損金比率(%)	23882.0
健全化法上の資金不足額(千円)	-
健全化法上の資金不足比率(%)	-
地財法上の資金不足額(千円)	-
地財法上の資金不足比率(%)	-

備考：  
 ・「不良債務額」、「不良債務比率」、「累積欠損金比率」は病院事業単位で算出し、「健全化法上の資金不足額」、「健全化法上の資金不足比率」、「地財法上の資金不足額」、「地財法上の資金不足比率」は特別会計単位で算出している。  
 ・設立団体の経常収支比率とは、地方公共団体の財政構造の弾力性を判断するための指標で、人件費、扶助費、公債費のように毎年度経常的に支出される経費(経常的経費)に充当された一般財源の額が、地方税、普通交付税を中心とする毎年度経常的に収入される一般財源(経常一般財源)、減収補填債特例分及び臨時財政対策債の合計額に占める割合をいう。

備考：  
 「類似平均」については類似区分(一般病院の500床以上、同400床以上500床未満、同300床以上400床未満、同200床以上300床未満、同100床以上200床未満、同50床以上100床未満、同50床未満、結核病院、精神科病院、建設中)に基づき算出している。

<b>病院事業決算状況</b> (30年度)	都道府県名	広島県
	市町村・組合名	神石高原町
	病院名	神石高原町立病院

施設及び業務概況等			
法適用区分	当然財務	特殊診療機能	透訓
病院区分	一般病院	不採算地区病院	第1種該当
建物面積	6,406 m <sup>2</sup>	指定病院の状況	救へ
診療科数	7	看護配置	13:1
許可公営企業		経営形態	指定管理者(利用料金制)
DPC対象病院	-	類似区分	50床以上~100床未満

特殊診療機能欄 ド...人間ドック 透...人工透析 I...ICU・CCU 未...NICU・未熟児室 訓...運動機能訓練室 ガ...ガン(放射線)診療  
 指定病院の状況欄 救...救急告示病院 臨...臨床研修病院 が...がん診療連携拠点病院 感...感染症指定医療機関 へ...へき地区医療拠点病院 災...災害拠点病院  
 地...地域医療支援病院 特...特定機能病院 輪...病院群輪番制病院

病床利用率・平均在院日数 (%・日)				
区分	病床数	30年度	29年度	28年度
一般	47	67.7	70.2	74.7
療養	36	79.8	85.6	67.2
結核	-	-	-	-
精神	-	-	-	-
感染症	-	-	-	-
計	83	72.9	76.9	70.9
平均在院日数(一般病床のみ)		18.1	23.1	24.0

設立団体の状況		
人口(人)	9,217	
決算規模(千円)	11,584,430	
標準財政規模(千円)	6,204,731	
財政力指数	0.21	
経常収支比率(%)	80.3	
健全化判断比率	実質赤字比率(%)	-
	連結実質赤字比率(%)	-
	実質公債費比率(%)	6.5
	将来負担比率(%)	-

修正医業収支の状況	
修正医業収支比率(%)	0.4
修正医業収支金額(千円)	1,488

損益計算書 (千円・%)				
区分	決算額	費用 医業収益	全国平均	類似平均
総収益	404,901			
1 経常収益	404,901			
(1) 医業収益	17,857			
入院収益	-			
外来収益	-			
診療収入計	-			
その他医業収益	17,857			
(うち他会計負担金)	16,369			
(2) 医業外収益	387,044			
(うち国・都道府県補助金)	3,417			
(うち他会計補助・負担金)	272,870			
(うち長期前受金戻入)	43,615			
(うち資本費繰入収益)	-			
(3) 特別利益	-			
(うち他会計繰入金)	-			
総費用	404,895			
2 経常費用	404,895			
(1) 医業費用	404,717			
職員給与費	-	-	56.0	71.8
材料費	-	-	24.1	16.5
(うち薬品費)	-	-	12.6	10.1
(うち薬品費以外の医薬材料費)	-	-	11.1	5.6
減価償却費	67,270	376.7	9.2	12.2
経費	335,987	1881.5	23.2	31.2
(うち委託料)	2,344	13.1	11.3	12.3
研究研修費	-	-		
資産減耗費	1,460			
(2) 医業外費用	178			
(うち支払利息)	170	1.0	1.6	1.9
(3) 特別損失	-			
損益	6			
経常収支比率	100.0		98.2	97.1
医業収支比率	4.4		88.3	75.5
他会計繰入金対経常収益比率	71.4		12.5	22.9
他会計繰入金対医業収益比率	1619.8		14.6	31.3
他会計繰入金対総収益比率	71.4		12.5	22.9
実質収益対経常費用比率	28.6		86.0	74.9

備考：  
「類似平均」については類似区分(一般病院の500床以上、同400床以上500床未満、同300床以上400床未満、同200床以上300床未満、同100床以上200床未満、同50床以上100床未満、同50床未満、結核病院、精神科病院、建設中)に基づき算出している。

貸借対照表 (千円・%)	
区分	決算額
資産合計	1,074,223
1 固定資産	921,687
(1) 有形固定資産	814,311
(2) 無形固定資産	681
(3) 投資その他の資産	106,695
2 流動資産	152,536
(1) 現金及び預金	112,058
(2) 未収金及び未収収益	40,478
(3) 貸倒引当金( )	-
(4) 貯蔵品	-
3 繰延資産	-
負債合計	809,429
1 固定負債	64,896
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	64,896
(2) その他の企業債	-
(3) 再建債(特例債含む)	-
(4) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(5) その他の長期借入金	-
(6) 引当金	-
(7) リース債務	-
2 流動負債	56,397
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	10,818
(2) その他の企業債	-
(3) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(4) その他の長期借入金	-
(5) 引当金	-
(6) リース債務	-
(7) 一時借入金	-
(8) 未払金及び未払費用	45,579
(9) 前受金及び前受収益	-
3 繰延収益	688,136
(1) 長期前受金	872,014
(2) 長期前受金収益化累計額( )	183,878
資本合計	264,794
1 資本金	-
2 剰余金	264,794
(1) 資本金剰余金	245,958
(2) 利益剰余金	18,836
負債・資本合計	1,074,223
不良債務	-
実質資金不足額	-
資本不足額( )	-
資本不足額(繰延収益控除後)( )	-
備考	

他会計からの繰入状況(千円)		
区分	基準額	実繰入額
収益勘定繰入	317,587	289,239
資本勘定繰入	23,443	46,885
計	341,030	336,124

不良債務額・不良債務比率の過去3ヵ年推移		
年度	不良債務額(千円)	不良債務比率(%)
30年度	-	-
29年度	-	-
28年度	-	-

資金不足等の状況	
累積欠損金比率(%)	-
健全化法上の資金不足額(千円)	-
健全化法上の資金不足比率(%)	-
地財法上の資金不足額(千円)	-
地財法上の資金不足比率(%)	-

備考：  
・「不良債務額」、「不良債務比率」、「累積欠損金比率」は病院事業単位で算出し、「健全化法上の資金不足額」、「健全化法上の資金不足比率」、「地財法上の資金不足額」、「地財法上の資金不足比率」は特別会計単位で算出している。  
・設立団体の経常収支比率とは、地方公共団体の財政構造の弾力性を判断するための指標で、人件費、扶助費、公債費のように毎年度経常的に支出される経費(経常的経費)に充当された一般財源の額が、地方税、普通交付税を中心とする毎年度経常的に収入される一般財源(経常一般財源)、減収補填債特例分及び臨時財政対策債の合計額に占める割合をいう。

<b>病院事業決算状況</b> ( 30 年度)	都道府県名	広島県
	市町村・組合名	世羅中央病院企業団
	病院名	公立世羅中央病院

施設及び業務概況等			
法適用区分	条例全部	特殊診療機能	ド 訓
病院区分	一般病院	不採算地区病院	非該当
建物面積	15,154 m <sup>2</sup>	指定病院の状況	救臨 輪
診療科数	18	看護配置	10:1
許可公営企業		経営形態	直営
DPC対象病院	-	類似区分	100床以上~200床未満

特殊診療機能欄 ド...人間ドック 透...人工透析 I...ICU・CCU 未...NICU・未熟児室 訓...運動機能訓練室 ガ...ガン（放射線）診療  
指定病院の状況欄 救...救急告示病院 臨...臨床研修病院 が...がん診療連携拠点病院 感...感染症指定医療機関 へ...へき地区医療拠点病院 災...災害拠点病院  
地...地域医療支援病院 特...特定機能病院 輪...病院群輪番制病院

病床利用率・平均在院日数 ( %・日 )				
区分	病床数	30 年度	29 年度	28 年度
一般	135	99.5	102.2	97.6
療養	20	98.7	99.2	91.2
結核	-	-	-	-
精神	-	-	-	-
感染症	-	-	-	-
計	155	99.4	101.8	96.8
平均在院日数 ( 一般病床のみ )		17.5	19.5	18.6

設立団体の状況	
人口 (人)	-
決算規模 (千円)	-
標準財政規模 (千円)	-
財政力指数	-
経常収支比率 (%)	-
健全化判断比率	実質赤字比率 (%)
	連結実質赤字比率 (%)
	実質公債費比率 (%)
	将来負担比率 (%)

修正医業収支の状況	
修正医業収支比率 (%)	85.5
修正医業収支金額 (千円)	2,618,349

損益計算書 (千円・%)				
区分	決算額	費用 医業収益	全国平均	類似平均
総収益	3,150,409			
1 経常収益	3,101,025			
(1) 医業収益	2,772,217			
入院収益	1,772,884			
外来収益	657,852			
診療収入計	2,430,736			
その他医業収益	341,481			
(うち他会計負担金)	153,868			
(2) 医業外収益	328,808			
(うち国・都道府県補助金)	1,408			
(うち他会計補助・負担金)	175,260			
(うち長期前受金戻入)	140,291			
(うち資本費繰入収益)	-			
(3) 特別利益	49,384			
(うち他会計繰入金)	-			
総費用	3,204,396			
2 経常費用	3,097,738			
(1) 医業費用	3,060,840			
職員給与費	1,518,762	54.8	56.0	61.8
材料費	512,279	18.5	24.1	17.7
(うち薬品費)	316,054	11.4	12.6	8.9
(うち薬品費以外の医薬材料費)	163,882	5.9	11.1	8.2
減価償却費	238,280	8.6	9.2	10.4
経費	780,764	28.2	23.2	29.9
(うち委託料)	208,235	7.5	11.3	12.9
研究研修費	7,889			
資産減耗費	2,866			
(2) 医業外費用	36,898			
(うち支払利息)	19,357	0.7	1.6	1.7
(3) 特別損失	106,658			
損益				
経常損益	3,287			
純損益	-53,987			
累積欠損金	71,906			
経常収支比率	100.1		98.2	96.7
医業収支比率	90.6		88.3	83.0
他会計繰入金対経常収益比率	10.6		12.5	16.6
他会計繰入金対医業収益比率	11.9		14.6	20.5
他会計繰入金対総収益比率	10.4		12.5	16.8
実質収益対経常費用比率	89.5		86.0	80.7

備考：  
「類似平均」については類似区分（一般病院の500床以上、同400床以上500床未満、同300床以上400床未満、同200床以上300床未満、同100床以上200床未満、同50床以上100床未満、同50床未満、結核病院、精神科病院、建設中）に基づき算出している。

貸借対照表 (千円・%)	
区分	決算額
資産合計	5,145,092
1 固定資産	3,147,796
(1) 有形固定資産	3,123,268
(2) 無形固定資産	12,828
(3) 投資その他の資産	11,700
2 流動資産	1,997,296
(1) 現金及び預金	1,593,667
(2) 未収金及び未収収益	377,677
(3) 貸倒引当金 ( )	387
(4) 貯蔵品	25,394
3 繰延資産	-
負債合計	2,677,147
1 固定負債	1,380,780
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	955,416
(2) その他の企業債	-
(3) 再建債 (特例債含む)	-
(4) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(5) その他の長期借入金	-
(6) 引当金	410,664
(7) リース債務	14,700
2 流動負債	367,025
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	102,500
(2) その他の企業債	-
(3) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(4) その他の長期借入金	-
(5) 引当金	101,260
(6) リース債務	4,200
(7) 一時借入金	-
(8) 未払金及び未払費用	148,337
(9) 前受金及び前受収益	-
3 繰延収益	929,342
(1) 長期前受金	2,203,421
(2) 長期前受金収益化累計額 ( )	1,274,079
資本合計	2,467,945
1 資本金	2,477,048
2 剰余金	-9,103
(1) 資本金剰余金	56,303
(2) 利益剰余金	-65,406
負債・資本合計	5,145,092
不良債務	-
実質資金不足額	-
資金不足額 ( )	-
資本不足額 (繰延収益控除後) ( )	-
備考	

他会計からの繰入状況 (千円)		
区分	基準額	実繰入額
収益勘定繰入	313,863	329,128
資本勘定繰入	103,150	103,150
計	417,013	432,278

不良債務額・不良債務比率の過去3ヵ年推移		
年度	不良債務額 (千円)	不良債務比率 (%)
30 年度	-	-
29 年度	-	-
28 年度	-	-

資金不足等の状況	
累積欠損金比率 (%)	2.6
健全化法上の資金不足額 (千円)	-
健全化法上の資金不足比率 (%)	-
地財法上の資金不足額 (千円)	-
地財法上の資金不足比率 (%)	-

備考：  
・「不良債務額」、「不良債務比率」、「累積欠損金比率」は病院事業単位で算出し、「健全化法上の資金不足額」、「健全化法上の資金不足比率」、「地財法上の資金不足額」、「地財法上の資金不足比率」は特別会計単位で算出している。  
・設立団体の経常収支比率とは、地方公共団体の財政構造の弾力性を判断するための指標で、人件費、扶助費、公債費のように毎年度経常的に支出される経費(経常的経費)に充当された一般財源の額が、地方税、普通交付税を中心とする毎年度経常的に収入される一般財源(経常一般財源)、減収補填債特例分及び臨時財政対策債の合計額に占める割合をいう。